

特 記 仕 様 書

第 1 章 樋門水門等点検要領

本章については、伊島漁港防波水門以外の樋門水門等の点検について適用する。

1) 目的

本要領は、樋門水門等の施設を常に良好な状態に保持・機能させることを目的として保守点検を実施するものである。

2) 点検箇所

別紙位置図のとおりとする。

3) 点検時期

点検については契約日から 60 日以内に行うものとする。

4) 点検業務内容

イ) 施設の点検については、ダム・堰施設技術基準、水門鉄管技術基準及び河川用ゲート設備点検・整備・更新検討マニュアル(案)を使用するものとし、監督員と点検項目について協議の上、実施すること。

ロ) 点検作業員は、業務について十分な知識と経験を有する者でなければならない。

ハ) 点検に際して受託者は、操作人の立会の上作業を行うものとする。ただし、委託者の承認を得た場合はこの限りではない。

ニ) 点検に際し河川工作物個票を作成し、異常がある場合には原因及び対策を個票に詳しく記入し、修繕に必要な概算費用を記入すること。

ホ) 点検状況については写真を貼付し、異常がある場合には、それが把握できる写真を貼付した個票を作成すること。

ヘ) 点検は、外部からの目視による点検及び分解を伴う内部の目視点検のほか、点検用器具（テストハンマー、メガーテスト、マイクロメーター、シクネスゲージ、塗膜厚計等）を使用し簡易な給油脂を行った後、管理運転（全開全閉を行う総合操作の機能確認及び調整）を行うこと。

ト) 受託者は、常に現場作業及び周囲の通行人の安全に留意し業務の実施に努めなければならない。

5) 点検取りまとめ要項

5-1. 点検箇所一覧表

番号順に河川名、箇所、施設名称、形状寸法、施設形式・材質、現在の操作委託者、連絡先、鍵・ハンドル、前回修繕業者・施行年月日を記入する。

5－2．表紙

各施設ごとに位置図に記入されている番号，河川名，箇所，施設名称，形状寸法，施設形式・材質，現在の操作委託者，連絡先，前回修繕業者・施行年月日を記入する。

5－3．位置図

地図により詳しい位置を示し添付する。

5－4．状況写真

全景，遠景，扉体，巻き上げ機，分解状況，腐食状況ほか，異常状況が詳しくわかるものを添付する。特に分解時，内部の構造等に不具合が生じる場合には，ピンポール等でその箇所を示し，貼付した写真の横にその内容等を詳しく明記する。操作人の立会状況についても添付すること。

5－5．塗装

塗装の点検項目及び内容については，別添の塗装点検要領により行うものとする。

5－6．排水機場関連施設

蛭地川，打樋川，苅屋川，出島川排水機場関連施設については，長寿命化計画に基づき点検を実施するため，別紙点検項目表ローラゲート及び吐出ゲートについても点検を実施し，記入すること。

5－7．点検結果

点検により異常が確認された場合には，その内容と修繕や部品の交換等に必要な費用を明記すること。

5－8．優先順位

上記点検結果より，修繕等が必要な箇所については，その緊急性に順位をつけA 緊急性は低いが対策が必要，B 1～2年以内に対策が必要，C 至急対策が必要の3つに分類し，それぞれ表にまとめること。

5－9．その他

ネジ等をはずして塗装がはがれた箇所は同色のペンキ等で補修しておくこと。
報告書は電子版2部及びA4紙ベースを3部提出すること。

第2章 伊島漁港防波水門点検要領

本章については、伊島漁港防波水門の点検について適用する。

1) 点検箇所

徳島県阿南市伊島町 伊島漁港 (別紙位置図参照)

2) 点検時期

1. 年点検 1回／ 7月頃
2. 月点検 2回／ 11月頃・1月頃

3) 点検業務内容

点検内容は、別紙保守点検リスト表のとおりとする。

4) 諸法令の遵守等

受注者は業務の実施にあたり、関係する法令を遵守すること。また、その運営及び摘要は受注者の負担と責任において行うものとする。また、点検によって生じた廃棄物については、受注者が適切に処理するものとする。

5) その他

1. 保守点検に必要な計器工具類等は、受注者にて準備すること。
2. 作業実施時には、必要に応じて監督員が立会する。
3. 報告書は電子版2部及びA4紙ベースを3部提出すること。

樋門水門等点検用

様式集

位置図

No.

施設名	
水系名	
河川名	
位置	

位置図

写真

河川工作物個票

No. _____

水系名			河川名	
施設名			管理者名	
地先名				
施設管理区分	1. 河川管理施設 2. 許可工作物 3. 管理者不明			
設置年月日	昭和・平成 年 月 日			
操作委託者	氏名		電話番号	
	住所			
鍵	種類・番号		保管場所	
	(使用箇所)			
ハンドル	口径・形		保管場所	
施設構造概要				
護岸	材質	コンクリート ・ ブロック ・ 土羽 ・ その他()		
樋門	門扉材質	鋼製		
	戸当り材質	鋼製＋ステンレス		
	形状	2.5*2.5 (B*H)m		
	型式	スライド ・ ローラー ・ その他()		
フラップゲート	ゲート材質			
	戸当り材質			
	形状			
巻き上げ機	方式	電動 ・ 手動 ・ エンジン		
		ラック ・ スピンドル		
		発動発電機(有・無) 自家発電装置(有・無)		
コンクリート構造物	材料	RC ・ 無筋 ・ ブロック ・ その他()		
	鉄筋径			
上屋	材質			
	構造			
安全施設	手摺り	有 ・ 無		
塗 装 (㎡)				
扉体		敷高		
戸当り		能力		
巻上機		集水灌漑面積		
手摺・階段				
管理橋				
操作台				
引込柱				
その他				
合計				
修 繕 概 要				
年 月 日				

河川工作物個票

No.

[illegible]

点 検 記 録 表

樋門（水門）

整理 番号	No.
----------	-----

点検年月日

南総県（阿南）

点 検 項 目	状況及び原因（点検後の所見）	処 置	対策完了年月日
扉 体			
戸 当 り			
巻 上 機			
水 密			
手 摺			
管 理 橋			
軀 体			

整理番号	
	(樋門・スライド・G・手動・ラック式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良 ・ 否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良 ・ 否	手摺塗装不可・錆
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良 ・ 否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	スキフプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
	水密ゴム	漏水	目視	良 ・ 否	
		老化、摩耗、損傷、変形	目視	良 ・ 否	
	ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良 ・ 否	
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良 ・ 否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	敷金物	変形、損傷、摩耗、漏水	目視・スケール	良 ・ 否	
	上・側部戸当り	変形、損傷、摩耗、漏水	目視・スケール	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視	良 ・ 否	
	躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良 ・ 否	
開閉装置	開閉機全般	清掃状態	目視	良 ・ 否	
		外観塗装状態	目視	良 ・ 否	
		振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良 ・ 否	
	ラック	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良 ・ 否	
		歯当り状況	目視	良 ・ 否	
		グリース塗布状態	目視	良 ・ 否	
	手動装置	変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		ハンドル負荷の具合	試運転	良 ・ 否	
	ケーシング本体	油漏れ	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視	良 ・ 否	
	開度指示計	表示板の透視性	目視	良 ・ 否	
		指針の作動、表示の整合	試運転	良 ・ 否	
	自重降下 (ラック式のみ)	作動、振動、音響	試運転	良 ・ 否	
		ブレーキの具合	試運転	良 ・ 否	
	アンカーボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
		機器と基礎の密着度	目視	良 ・ 否	

整理番号
(樋門・スライド・G・電動・スピンドル式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良 ・ 否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良 ・ 否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良 ・ 否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	スキフプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
	水密ゴム	漏水	目視	良 ・ 否	
		老化、摩耗、損傷、変形	目視	良 ・ 否	
	ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	サイドローラ	摩耗、損傷、腐食、作動	目視・作動	良 ・ 否	
	くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良 ・ 否	
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良 ・ 否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	敷金物	変形、損傷、摩耗、漏水	目視・スケール	良 ・ 否	
	上・側部戸当り	変形、損傷、摩耗、漏水	目視・スケール	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良 ・ 否	
開閉装置	開閉機全般	清掃状態	目視	良 ・ 否	
		外観塗装状態	目視	良 ・ 否	
		振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良 ・ 否	
	スピンドル	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良 ・ 否	
		歯当り状況	目視	良 ・ 否	
		グリース塗布状態	目視	良 ・ 否	
	電動機	電圧機	計測機器	良 ・ 否	
		電流値	計測機器	良 ・ 否	
		振動、音響、過熱	目視・聴音・指触	良 ・ 否	
		絶縁抵抗	計測機器	良 ・ 否	
		接地抵抗	計測機器	良 ・ 否	
	制限開閉機	上下限の検知作動	試運転	良 ・ 否	
		非常上限の検知作動	試運転	良 ・ 否	
	保護装置	過負荷の検知作動	試運転	良 ・ 否	
	電動、手動切替	作動	試運転	良 ・ 否	
	手動装置	変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		ハンドル負荷の具合	試運転	良 ・ 否	
	ケーシング本体	油漏れ	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視	良 ・ 否	

整理番号
(樋門・ローラ-G・電動・ラック式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良 ・ 否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良 ・ 否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良 ・ 否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	スキフプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	主ローラ	給油状態	目視	良 ・ 否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良 ・ 否	
	補助ローラ	給油状態	目視	良 ・ 否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良 ・ 否	
	軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
	水密ゴム	漏水	目視	良 ・ 否	
		老化、摩耗、損傷、変形	目視	良 ・ 否	
	ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良 ・ 否	
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良 ・ 否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	側部戸当り 主、補助ローラレール	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良 ・ 否	
	取外し戸当り	変形、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良 ・ 否	
開閉装置	開閉機全般	清掃状態	目視	良 ・ 否	
		外観塗装状態	目視	良 ・ 否	
		振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良 ・ 否	
	ラック	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良 ・ 否	
		歯当り状況	目視	良 ・ 否	
		グリース塗布状態	目視	良 ・ 否	
	電動機	電圧機	計測機器	良 ・ 否	
		電流値	計測機器	良 ・ 否	
		振動、音響、過熱	目視・聴音・指触	良 ・ 否	
		絶縁抵抗	計測機器	良 ・ 否	
		接地抵抗	計測機器	良 ・ 否	
	制限開閉機	上下限の検知作動	試運転	良 ・ 否	
		非常上限の検知作動	試運転	良 ・ 否	
	保護装置	過負荷の検知作動	試運転	良 ・ 否	
	電動、手動切替	作動	試運転	良 ・ 否	

整理番号
(樋門・ローラーG・電動・油圧式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良 ・ 否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良 ・ 否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良 ・ 否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	スキンプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	主ローラ	給油状態	目視	良 ・ 否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良 ・ 否	
	補助ローラ	給油状態	目視	良 ・ 否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良 ・ 否	
	軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
	水密ゴム	漏水	目視	良 ・ 否	
		老化、摩耗、損傷、変形	目視	良 ・ 否	
	ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良 ・ 否	
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良 ・ 否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	側部戸当り			良 ・ 否	
	主、補助ローラーレール	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良 ・ 否	
	取外し戸当り	変形、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
開閉装置	開閉機全般	清掃状態	目視	良 ・ 否	
		外観塗装状態	目視	良 ・ 否	
		振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良 ・ 否	
	ラック	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良 ・ 否	
		歯当り状況	目視	良 ・ 否	
		グリース塗布状態	目視	良 ・ 否	
	電動機	電圧機	計測機器	良 ・ 否	
		電流値	計測機器	良 ・ 否	
		振動、音響、過熱	目視・聴音・過熱	良 ・ 否	
		絶縁抵抗	計測機器	良 ・ 否	
		接地抵抗	計測機器	良 ・ 否	

整理番号
(樋門・フラップG・手動・ウインチ式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良 ・ 否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良 ・ 否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良 ・ 否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	スキンプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	主ローラ	給油状態	目視	良 ・ 否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良 ・ 否	
	補助ローラ	給油状態	目視	良 ・ 否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良 ・ 否	
	軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
	水密ゴム	漏水	目視	良 ・ 否	
		老化、摩耗、損傷、変形	目視	良 ・ 否	
	ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良 ・ 否	
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良 ・ 否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	側部戸当り	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良 ・ 否	
	主、補助ローラーレール			良 ・ 否	
	取外し戸当り	変形、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
開閉装置	開閉機全般	清掃状態	目視	良 ・ 否	
		外観塗装状態	目視	良 ・ 否	
		振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良 ・ 否	
	ラック	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良 ・ 否	
		歯当り状況	目視	良 ・ 否	
		グリース塗布状態	目視	良 ・ 否	
	電動機	電圧機	計測機器	良 ・ 否	
		電流値	計測機器	良 ・ 否	
		振動、音響、過熱	目視・聴音・過熱	良 ・ 否	
		絶縁抵抗	計測機器	良 ・ 否	
		接地抵抗	計測機器	良 ・ 否	

整理番号	
	(樋門・フラップG・電動・ウインチ式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良 ・ 否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良 ・ 否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良 ・ 否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	スキンプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
	水密ゴム	漏水	目視	良 ・ 否	
		老化、摩耗、損傷、変形	目視	良 ・ 否	
	ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良 ・ 否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	敷金物	変形、損傷、摩耗、漏水	目視・スケール	良 ・ 否	
	上・側部戸当り	変形、損傷、摩耗、漏水	目視・スケール	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視	良 ・ 否	
開閉装置	開閉機全般	躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良 ・ 否
		清掃状態	目視	良 ・ 否	
		外観塗装状態	目視	良 ・ 否	
	手動装置	振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良 ・ 否	
		変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		ハンドル負荷の具合	試運転	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視	良 ・ 否	
	アンカーボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
		機器と基礎の密着度	目視	良 ・ 否	

整理番号
(樋門・フラップG・自然開閉)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良 ・ 否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良 ・ 否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良 ・ 否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	主桁	たわみ、変形、損傷、	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	スキンプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	水密ゴム	漏水	目視	良 ・ 否	
		老化、摩耗、損傷、変形	目視	良 ・ 否	
戸当り	ゴム取付ボルト、ナット		目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	構造全体	障害物、堆積物	目視	良 ・ 否	
		摩耗、変形、損傷、たわみ	目視・計測機器	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	側部戸当り 敷金物	摩耗、変形、損傷	目視・スケール	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良 ・ 否	

整理番号
(樋門・浮体起状G・自然開閉)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良 ・ 否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良 ・ 否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良 ・ 否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	主桁	たわみ、変形、損傷、	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	スキンプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	水密ゴム	漏水	目視	良 ・ 否	
		老化、摩耗、損傷、変形	目視	良 ・ 否	
戸当り	ゴム取付ボルト、ナット		目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	構造全体	障害物、堆積物	目視	良 ・ 否	
		摩耗、変形、損傷、たわみ	目視・計測機器	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	側部戸当り 敷金物	摩耗、変形、損傷	目視・スケール	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良 ・ 否	

整理番号	
	(水門・ローラーG・電動・ラック式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
開閉装置	保護装置	過負荷の検知作動	試運転	良 ・ 否	
	電動・手動切替	作動	試運転	良 ・ 否	
	手動装置	変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		ハンドル負荷の具合	試運転	良 ・ 否	
	ケーシング本体	油漏れ	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視	良 ・ 否	
	開度指示計	表示板の透視性	目視	良 ・ 否	
		指針の作動、表示の整合	試運転	良 ・ 否	
	油面計	油量、油の汚れ	目視	良 ・ 否	
	自重降下 (ラック式のみ)	作動、振動、音響	試運転	良 ・ 否	
		ブレーキの具合	試運転	良 ・ 否	
	アンカーボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視	良 ・ 否	
		機器と基礎の密着度	目視	良 ・ 否	
操作盤	ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良 ・ 否	
	操作盤全般	清掃状態	目視	良 ・ 否	
		塗装状態	目視	良 ・ 否	
		のぞき窓の透視性	目視	良 ・ 否	
		内部漏水	目視	良 ・ 否	
		扉の開閉作動	操作	良 ・ 否	
	アンカーボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
		機器と基礎の密着度	目視	良 ・ 否	
	電圧計	規定電圧値の作動表示	目視	良 ・ 否	
	電流計	規定電流値の作動表示	目視	良 ・ 否	
	表示灯	ランプ点滅	目視	良 ・ 否	
	開度計・受信器	作動、整合性	目視	良 ・ 否	
	押ボタン(レバー)	作動	操作	良 ・ 否	
	開閉器	作動	操作	良 ・ 否	
	リレー類	作動	操作	良 ・ 否	
	配線	被覆損傷、断線	計測機器	良 ・ 否	
		端子締付状態	計測機器	良 ・ 否	
		絶縁抵抗	計測機器	良 ・ 否	
		設置抵抗	計測機器	良 ・ 否	

整理番号	
	(水門・ローラーG・電動・ワイヤーロープ式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良 ・ 否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良 ・ 否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良 ・ 否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	スキフプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	主ローラ	給油状態	目視	良 ・ 否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良 ・ 否	
	補助ローラ	給油状態	目視	良 ・ 否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良 ・ 否	
	軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
	水密ゴム	漏水	目視	良 ・ 否	
		老化、摩耗、損傷、変形	目視	良 ・ 否	
	ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良 ・ 否	
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良 ・ 否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	側部戸当り 主、補助ローラーレール	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良 ・ 否	
	取外し戸当り	変形、損傷、腐食	目視	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良 ・ 否	
開閉装置	開閉機全般	清掃状態	目視	良 ・ 否	
		外観塗装状態	目視	良 ・ 否	
		振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良 ・ 否	
	ワイヤーロープ	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良 ・ 否	
		歯当り状況	目視	良 ・ 否	
		グリース塗布状態	目視	良 ・ 否	
	電動機	電圧機	計測機器	良 ・ 否	
		電流値	計測機器	良 ・ 否	
		振動、音響、過熱	目視・聴音・指触	良 ・ 否	
		絶縁抵抗	計測機器	良 ・ 否	
		接地抵抗	計測機器	良 ・ 否	
	制限開閉機	上下限の検知作動	試運転	良 ・ 否	
		非常上限の検知作動	試運転	良 ・ 否	
	保護装置	過負荷の検知作動	試運転	良 ・ 否	
	電動、手動切替	作動	試運転	良 ・ 否	

整理番号	
	(水門・マイターG・自然開閉)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
受配電・ 負荷設備	設備全般	外観点検・清掃状況	目視	良 ・ 否	
		異音、異臭、発煙等	目視・聴音	良 ・ 否	
	引込装置	外観	目視	良 ・ 否	
		操作機構・開閉機類	目視・操作	良 ・ 否	
		配線接続部	目視・指触	良 ・ 否	
	配管・配線・ケーブル	外観点検・清掃状況	目視	良 ・ 否	
		ケーブル露出	目視	良 ・ 否	
		ヘッド端末	目視・指触	良 ・ 否	
	設置装置	接地接続部	目視・指触	良 ・ 否	
		機器外箱の設地	目視・指触	良 ・ 否	
	その他	小動物侵入の痕跡	目視	良 ・ 否	
		機器据付状態	目視	良 ・ 否	
	測定等	絶縁抵抗	計測機器	良 ・ 否	
		接地抵抗	計測機器	良 ・ 否	
操作制御 ・ 計測設備	設備全般	外観点検・清掃状況	目視	良 ・ 否	
		表示ランプ・ヒューズ類	目視・聴音	良 ・ 否	
		異音、異臭、発煙等	目視	良 ・ 否	
	バイパスバルブ	計測器の指示置	目視	良 ・ 否	
	盤内各部	外観	目視	良 ・ 否	
		湿気・塵埃	目視	良 ・ 否	
		電線被覆・接続部	目視・指触	良 ・ 否	
	機能確認	操作・制御機能	操作	良 ・ 否	
		鳴道試験・警報表示	目視・操作	良 ・ 否	
	開度計	外観	目視・聴音	良 ・ 否	
		接続部端子	目視・指触	良 ・ 否	
		水位比較	目視	良 ・ 否	
	設置装置	接地接続部	目視・指触	良 ・ 否	
		機器外箱の設地	目視・指触	良 ・ 否	
	その他	小動物侵入の痕跡	目視	良 ・ 否	
		機器据付状態	目視	良 ・ 否	
	測定等	絶縁抵抗	計測機器	良 ・ 否	
		接地抵抗	計測機器	良 ・ 否	
		電圧・電流	計測機器	良 ・ 否	

整理番号
(陸間・片開G・手動)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
扉体	全般	清掃状態	目視	良 ・ 否	
		相対寸法	目視	良 ・ 否	
	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良 ・ 否	
		たわみ、変形	目視・計測機器	良 ・ 否	
	主桁	変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		たわみ、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
		水抜き穴	目視	良 ・ 否	
	スキンプレート	変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		たわみ、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	縦桁	変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		たわみ、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	水密ゴム	漏水	目視	良 ・ 否	
		老化、摩耗、損傷、変形	目視	良 ・ 否	
	ゴム取付ホルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
戸当り	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	軸受	作動、摩耗、給油、損傷	目視	良 ・ 否	
	締付金具	作動、変形、たわみ、給油	目視	良 ・ 否	
	全般	清掃状態	目視	良 ・ 否	
	下部戸当り	摩耗、変形、損傷、たわみ	目視・計測機器	良 ・ 否	
	側部戸当り	摩耗、変形、損傷、たわみ	目視・計測機器	良 ・ 否	
	ホルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	休止金具	作動、損傷、摩耗	目視	良 ・ 否	
	軸受	作動、摩耗、給油、損傷	目視	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	締付ボックス	損傷、変形、たわみ、摩耗	目視	良 ・ 否	
	コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良 ・ 否	

整理番号	
	(陸間・引扉・手動)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
扉体	全般	清掃状態	目視	良 ・ 否	
		相対寸法	目視	良 ・ 否	
	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良 ・ 否	
		たわみ、変形	目視・計測機器	良 ・ 否	
	主桁	変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		たわみ、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
		水抜き穴	目視	良 ・ 否	
	スキンプレート	変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		たわみ、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	縦桁	変形、損傷	目視	良 ・ 否	
		たわみ、板厚の減少度	目視・計測機器	良 ・ 否	
	水密ゴム	漏水	目視	良 ・ 否	
		老化、磨耗、損傷、変形	目視	良 ・ 否	
	ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	車輪	作動、損傷	目視	良 ・ 否	
		磨耗	スケール	良 ・ 否	
	車輪軸受	作動、損傷	目視	良 ・ 否	
		磨耗	スケール	良 ・ 否	
	ガイドローラ	作動、損傷	目視	良 ・ 否	
		磨耗	スケール	良 ・ 否	
	ガイドローラ軸受	作動、損傷	目視	良 ・ 否	
		磨耗	スケール	良 ・ 否	
	上下装置	作動、損傷	目視・聴音	良 ・ 否	
		磨耗	スケール	良 ・ 否	
	締付金具	作動、変形、たわみ、給油	目視	良 ・ 否	
戸当り	全般	清掃状態	目視	良 ・ 否	
	下部戸当り	磨耗、変形、損傷、たわみ	目視・計測機器	良 ・ 否	
	ガイドレール及サポート	磨耗、変形、損傷、たわみ	目視・計測機器	良 ・ 否	
	側部戸当り	磨耗、変形、損傷、たわみ	目視・計測機器	良 ・ 否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良 ・ 否	
	休止金具	作動、損傷、磨耗	目視	良 ・ 否	
	溶接部	割れ	目視	良 ・ 否	
	締付ボックス	損傷、変形、たわみ、磨耗	目視	良 ・ 否	
	コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良 ・ 否	

塗 装 点 検 要 領

項 目	ランク	内容	間隔	方法	良否の判定方法及び基準																																													
桁 材 スキンプレート ガイト金物 その他	A ～ D を 記 入 す る	発 錆	1 / 年	目 視	判定基準により塗膜の劣化程度を判定する。 <table><tr><td></td><td>発 錆</td><td>ふくれ</td><td>はくり</td><td>亀 裂</td><td>脆 化</td></tr><tr><td>A</td><td>な し</td><td>な し</td><td>な し</td><td>な し</td><td>な し</td></tr><tr><td>B</td><td>僅 か あ り</td><td>僅 か あ り</td><td>僅 か あ り</td><td>僅 か あ り</td><td>僅 か あ り</td></tr><tr><td>C</td><td>多 い</td><td>多 い</td><td>多 い</td><td>多 い</td><td>多 い</td></tr><tr><td>D</td><td>著 しい</td><td>著 しい</td><td>著 しい</td><td>著 しい</td><td>著 しい</td></tr></table> 塗替の範囲は塗替基準による。 (塗替基準) <table><tr><td></td><td>塗膜の状態</td><td>塗替塗装の範囲</td></tr><tr><td>A</td><td>異常なし</td><td>塗替の必要なし</td></tr><tr><td>B</td><td>上塗り塗装だけが劣化している。</td><td>上塗り塗装の塗替</td></tr><tr><td>C</td><td>上塗りだけの劣化でなく一部下塗り塗膜も劣化している。</td><td>上塗り，下塗り塗膜とも塗替。</td></tr><tr><td>D</td><td>上塗り，下塗り塗膜ともに劣化している。</td><td>同 上</td></tr></table>		発 錆	ふくれ	はくり	亀 裂	脆 化	A	な し	な し	な し	な し	な し	B	僅 か あ り	僅 か あ り	僅 か あ り	僅 か あ り	僅 か あ り	C	多 い	多 い	多 い	多 い	多 い	D	著 しい	著 しい	著 しい	著 しい	著 しい		塗膜の状態	塗替塗装の範囲	A	異常なし	塗替の必要なし	B	上塗り塗装だけが劣化している。	上塗り塗装の塗替	C	上塗りだけの劣化でなく一部下塗り塗膜も劣化している。	上塗り，下塗り塗膜とも塗替。	D	上塗り，下塗り塗膜ともに劣化している。	同 上
			発 錆			ふくれ	はくり	亀 裂	脆 化																																									
		A	な し			な し	な し	な し	な し																																									
		B	僅 か あ り			僅 か あ り	僅 か あ り	僅 か あ り	僅 か あ り																																									
		C	多 い			多 い	多 い	多 い	多 い																																									
D	著 しい	著 しい	著 しい	著 しい	著 しい																																													
	塗膜の状態	塗替塗装の範囲																																																
A	異常なし	塗替の必要なし																																																
B	上塗り塗装だけが劣化している。	上塗り塗装の塗替																																																
C	上塗りだけの劣化でなく一部下塗り塗膜も劣化している。	上塗り，下塗り塗膜とも塗替。																																																
D	上塗り，下塗り塗膜ともに劣化している。	同 上																																																
ふくれ	1 / 年	はくり	1 / 年	亀 裂	1 / 年	脆 化																																												
はくり	1 / 年	亀 裂	1 / 年	脆 化																																														
亀 裂	1 / 年	脆 化																																																
脆 化																																																		

- 1) 発錆状態が劣化程度のC，Dになった場合，可能な限り早急に塗替を行わなければならない。
- 2) 部分補修の場合は，据付時の塗装仕様を十分調査して，塗料選定を誤らないようにする。
- 3) 塗替の時期は，全面的に発錆を見てからでは遅いので，このような状態になる以前に塗替の時期・方法を決めること。

点検項目表			吐出ゲート(ローラ・スライドゲート／ラック・スピンドル・油圧式開閉機)			No. 1	
装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベルⅠ		備考	
				待機系設備			
				年点検 基本周期 1年毎	判 定		
扉体全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E			
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E			
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E			
	塗装	損傷	損傷がないこと	E			
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E			
扉体	構造全体	振動	異常振動がないこと	H			
		異常音	異常音がないこと	S			
		片吊り	異常な傾き(片吊り)がないこと	E			
	スキンプレート	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	主桁、補助桁	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	クサビ	損傷	損傷がないこと	E			
		扉体圧着状態	水密ゴムと戸当りにすきまがないこと	E			
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	部(スライドゲート)	摺動板	摩耗	摩耗がないこと	E		
損傷			損傷がないこと	E			
腐食(孔食)			腐食(孔食)がないこと	E			
摺動状態			異常なく開閉すること	D			
サイドシュー		摩耗	摩耗がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
支承部(ローラゲート)		主ローラ、軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E		
			損傷	損傷がないこと	E		
	腐食(孔食)		腐食(孔食)がないこと	E			
	給油状態		油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
	回転状況		回転すること	D			
	補助ローラ、軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
		回転状況	回転すること	D			
金吊物	吊り金物、吊りピン	損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
水密部	水密ゴム	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		劣化	劣化がないこと	E			
		漏水	機能に支障がないこと	E			
	ゴム押え板	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
特記事項							

点検項目表			吐出ゲート（ローラ・スライドゲート／ラック・スピンドル・油圧式開閉機）			No. 2	
装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベルⅠ		備考	
				待機系設備			
				年点検 基本周期 1年毎	判定		
戸当り全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E			
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E			
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E			
		塗装	損傷	損傷がないこと	E		
取外し戸当り（スライドゲート）	レール	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	補助レール	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		変形	変形がないこと	E			
	取外し戸当り（ローラゲート）	主ローラレール	変形	変形がないこと	E		
			損傷	損傷がないこと	E		
			腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
			溶接部の割れ	割れがないこと	E		
補助ローラレール		変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
ボルト、ナット		ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		変形	変形がないこと	E			
埋設部	底部戸当り	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	側部戸当り	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	上部戸当り	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
コンクリート部	コンクリートの損傷	損傷がないこと	E				
	コンクリートの漏水	機能に支障がないこと	E				
特記事項							

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

吐出ゲート(ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機)

No. 3

装置区分	点検項目	点検内容	E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解	設備区分レベルⅠ		備考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1年毎	判定	
開閉装置全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E		
構造部	構造全体	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
	架台	たわみ	たわみがないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
		ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
	ボルト、ナット	損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
電動機		振動	異常振動がないこと	H		
	異常音	異常音がないこと	S			
	温度上昇	異常な温度上昇がないこと	M		温度計により確認	
	電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M		機側操作盤の電流計の読み	
	電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M		機側操作盤の電圧計の読み	
	絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること	M		絶縁抵抗計	
	内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗がないこと	必要に応じて実施			
	内燃機関	始動性	円滑に始動できること	D		
		振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
漏油		漏油がないこと	E			
燃料油量		油面計の規定内であること	E			
燃料劣化		ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと	E			
冷却水量		規定内の量であること	E			
冷却水劣化		ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと	E			
潤滑油量		油量計の規定内であること	E			
潤滑油量劣化		ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと	E			
エレメント目詰まり(汚れ)		目詰まり、ひどい汚れがないこと	E			
Vベルト弛み		適正な張りがあること	H			
Vベルト損傷		損傷がないこと	E			
排気管損傷		断熱材、配管に損傷がないこと	E			
バッテリー液量		液量が規定内であること	E			
バッテリー比重	比重が規定内であること	M		デスターで測定		
手動装置	作動状況	円滑に開閉操作ができること	D			
	操作力	操作力が100N以下であること	M		バネ計りで計測	
制動部	制動機構(セルフロック)	作動状況	扉体が降下しないこと	D		
	遠心ブレーキ(ラック式)	外観	発錆がないこと	E		
		ライニングの磨耗	ライニング厚1mm以上のこと	M		ノギス、スケール等により測定する。
		作動状況	自重降下すること	D		
		自重降下速度	6m/min以下または開閉装置の仕様とoirのこと	M		開度計の変化をストップウォッチで測定。
特記事項						

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

吐出ゲート(ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機)

No. 4

装置 区分	点検項目	点検内容	E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解 判定方法	設備区分レベルⅠ		備 考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1年毎	判 定	
減速 装置	本体（減速機）	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		温度上昇	異常な温度上昇がないこと	H		
		漏油	漏油がないこと	E		
		潤滑油量	油面計の規定内であること	E		
		潤滑油劣化	ひどい濁りがなく、乳白色化して ないこと	E		
		内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗が ないこと	必要に 応じて実施		
動力 伝達 部	切替装置	作動状況	スムーズに切り替えられること	D		
	連動軸	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
	軸継手	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		芯振れ	異常な芯振れがないこと	必要に 応じて実施		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣 化がないこと	E		
内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗が ないこと	必要に 応じて実施				
扉体 駆動 部	スピンドル	変形、曲り	変形、曲りがないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		磨耗	磨耗がないこと	M		ノギスにより測定する。
		油切れ	ネジ部にグリースが付着している こと	E		
扉体 駆動 部	ラックピン	磨耗	開閉装置メーカーに許容値を確認の こと	E, M		
		給油状態	ラックピンにグリースが付着して いること	E, H		
	ラック棒	変形	変形がないこと	E		
		異常音	異常音がないこと	S		
保護 装置	過負荷防止機構	作動状況	正常に作動すること	D		
	リミットスイッチ	作動状況	設定値にて正常に作動すること	D		
開度 計	機械式	作動状況	実掲程と指針表示が合致している こと	D		
		盤面の曇り	表示窓が透明で、視認に支障が ないこと	E		
中間 振止	中間振止	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		スピンドルとの干渉	スピンドルと干渉しないこと	E		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

吐出ゲート(ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機)

No. 5

装置 区分	点検項目	点検内容	E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解 判定方法	設備区分レベルⅠ		備 考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1 年毎	判 定	
全 般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
	塗装	損傷	傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
	外観	水滴の付着	水滴が付着していないこと	E		
油 圧 シ リ ン ダ	ピストンロッド	スティックスリップ、ビビリ等の振動、異音	異音、異常が感じられる振動がないこと	H, S		
		すべり面(めっき)の損傷	油漏れが生じるような損傷がないこと	E		
		ロッド部の発錆	発錆がないこと 発錆により油漏れが発生していないことを確認する	E		
		ロッドパッキン部の油漏れ	油が垂れていないこと パッキンを締め付けても油漏れがなくなる場合にはその量を計測する	E		
		曲がり	目視で曲がりが生じていないこと 曲がりがある場合には ストレッチ等 でその量を計測する	E, M		ストレッチ等により測定
	キャップ、ヘッドカバー	ボルトナットの弛み	油漏れが生じていないこと 弛みがないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
	ピストンパッキン	扉体のずれ落ち量(内部油漏れ)	ゲート操作に支障がないこと 目安：50mm/24hr	M		
	配管接続部	ボルトナットの弛み	弛みがないこと 油漏れが生じていないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
油 圧 ユ ニ ャ ッ ト	油圧ユニット外面	外面の水滴、塵 埃 ほこり	ユニット外面に水滴、塵埃、ほこり等の付着がないこと	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
		銘板類の損傷	銘板類の脱落、汚損がないこと	E		
	油漏れ	油圧ユニット設置部	油圧ユニット設置床面に、油溜りや油が滴下した形跡がないこと	E		
		油タンク部	油タンク上面に油溜りがないこと	E		
		油圧機器、配管	油圧機器や配管から油が垂れていないこと	E		
	油タンク	油面	油タンクの油面が油面計に印された正常な範囲にあること	E		
		油温	点検時、通常のゲート開閉運転を行い、作動油の温度上昇が30℃以下であることを確認する	M		温度計により測定
	油圧発生装置	電流値	設計圧力オンロード時の電流値が定格電流以下であること	M		電流計にて測定
		電圧値	作動時の電圧降下が±10%以下であること	M		電圧計にて測定
		異常騒音	有害な異常音がないこと	S		
		振動	有害な振動がないこと	H		
		発熱	異常な温度上昇がないこと	H		
		ポンプ取付ボルト配管との接続ボルト	取付ボルト、配管との接続ボルトに弛みが生じてないこと	E, H		
		油漏れ	油面計取付部、ドレンバルブからの油漏れがないこと	E		
油 圧 ユ ニ ャ ッ ト	付属設備	端子箱	端子箱の内部に水分や塵埃、ほこり等の付着がないこと 端子箱内面や結線部が錆付いていないこと 端子接続部に弛みを生じていないこと	E		

特記事項

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

吐出ゲート(ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機)

No. 6

装置 区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベル I		備 考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1 年毎	判 定	
油 圧 配 管	配管部	管継手部漏油(ニッ プル、ユニオンソ ケットなど)	ウェスで清掃し、新たに油がにじ み出さないこと	E		
		管溶接部の割れ (ソケット、管固定 部など)	割れのないこと	E		
		配管の割れ	割れのないこと	E		
		管汚れ	管の汚れのないこと	E		
		塗装	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変 退色、白亜化がないこと	E		
作 動 油	作動油	分析	色、粘度変化率、全酸化、水分、 汚染度等が基準に定められた許容 値を超えないこと	M		専門検査機関に依頼する。
扉 体 休 止 装 置	全般	清掃状態	ひどい汚れ、油等の付着がないこ と	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変 退色、白亜化がないこと	E		
		水滴の付着	水滴が付着していないこと	E		
	油圧シリンダ内 蔵自動着脱式休 止装置	油漏れ	油圧シリンダヘッド部が油で漏れ ていなければ良い	E		
		作動確認	ロッドが所定量移動すれば良い 休止操作が円滑に行え、正常な休 止状態が確保できること	M		移動量をメジャーで測定
		リミットスイッチ作 動確認	機側操作盤の表示ランプが点灯す れば良い	D		

特記事項

点検項目表			吐出ゲート(ローラ・スライドゲート／ラック・スピンドル・油圧式開閉機)			No. 7
装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベルⅠ		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
				基本周期 1年毎		
機側操作盤全般	盤全体	清掃・塗装状態	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗膜の割れ、腐食がないこと	E		
		破損	破損がないこと	E		
		塗装状況	鋼板表面に塗膜の割れおよび腐食がないこと	E		
		内部温度・湿度状態	乾燥していること、また異常高温になっていないこと	E, H		
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ異常であること	M		絶縁抵抗計により測定
	機器、計器類共通	汚れ	汚れがないこと	E		
		変色	変色がないこと	E		
		端子のゆるみ	端子のゆるみがないこと	E, H		
		異常音	異常音がないこと	S		
	計器類	電流計	電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M	
0点確認			ゲート停止時に0点を指していること	E		
電圧計		電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M		機側操作盤の電圧計の読み
開閉器類	電磁接触器	動作テスト	異常なく作動すること	D		
		異常音	異常音、振動がないこと	D, S		
		接点	接点に変色がないこと、接点溶着がないこと	D, E		
	漏電継電器	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D		
	避雷器	ランプテスト	正常に点灯すること、ヒューズが落断していないこと	E, H		
	スペースヒータ(サーモスイッチ)	作動テスト	サーモスイッチの設定を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し動作を確認する。	D		
リレー類	補助リレー	作動テスト	異常音、振動がないこと	D, S, E		
		異常音	異常音がないこと	D, S, H		
	3Eリレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D		
		設定値確認	図面通りの設定値であること	E		
サーマルリレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D			
タイマー	設定値確認	図面通りの設定値であること	E			
押釦表示灯	押釦スイッチ	作動テスト	開、閉、停が的確に作動すること	D, E		
	表示灯	ランプテスト	点灯すること	D, E		
	盤内蛍光灯	点灯、球切れ	点灯すること	D		
開度指示計	開度指示計	指示	実際掲程(または発信機)と指示値が合致していること、セルシウス式は発信器の指示値に応動していること	D, E, M		開度指示計の読み
配線	盤内配線	配線状態	損傷がなく断線していないこと	E		
		端子のゆるみ、脱落	断線がないこと、ゆるみがないこと	E, H		
	端子台	腐食	発錆がないこと	E		
	端子台取付ボルト	ゆるみ、脱落	ゆるみがないこと	E, H		
配管	配管	配管状態	ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと	E		
特記事項						

点検項目表			ローラゲート／ワイヤロープウインチ式開閉機			No. 1	
装置 区分	点検項目	点検内容	E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解 判定方法	設備区分レベルⅠ		備 考	
				待機系設備			
				年点検 基本周期 1年毎	判 定		
扉体 全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E			
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E			
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E			
	塗装	損傷	損傷がないこと	E			
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E			
扉体	構造全体	振動	異常振動がないこと	H			
		異常音	異常音がないこと	S			
		片吊り	異常な傾き(片吊り)がないこと	E			
	スキンプレート	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じた実施			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	主桁、補助桁	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じた実施			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	支 承 部 (ローラ部)	主ローラ、軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E		
			損傷	損傷がないこと	E		
腐食(孔食)			腐食(孔食)がないこと	E			
給油状態			油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
回転状況			回転すること	D			
補助ローラ、軸、軸受		摩耗	摩耗がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
		回転状況	回転すること	D			
扉体付 シーブ	シーブ、シーブ軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
		回転状況	回転すること	D			
水密部	水密ゴム	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		劣化	劣化がないこと	E			
		漏水	機能に支障がないこと	E			
	ゴム押え板	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
特記事項							

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート／ワイヤロープウインチ式開閉機

No. 2

装置 区分	点検項目	点検内容	E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解 判定方法	設備区分レベルⅠ		備 考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1 年毎	判 定	
給油装置 (支 承 部)	給油ポンプ	損傷	損傷がないこと	E		
		作動状況	適正な圧力が発生すること	D		
		油量	適量で乳白色化していないこと	E		
	給油配管	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		漏油	漏油がないこと	E		
	分配弁	損傷	損傷がないこと	E		
		作動状況	作動すること	D		
戸 当 り 全 般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E		
取 外 し 戸 当 り	主ローラレール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	補助ローラレール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
		損傷	損傷がないこと	E		
埋 設 部	底部戸当り	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	側部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	上部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	コンクリート部	コンクリートの損傷	損傷がないこと	E		
		コンクリートの漏水	機能に支障がないこと	E		

特記事項

点検項目表			ローラゲート／ワイヤロープウインチ式開閉機			No. 4	
装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解	設備区分レベルⅠ		備考	
				待機系設備			
				年点検 基本周期 1年毎	判定		
制動部	電磁制動機 電動油圧 押上式制動機	作動状況	確実に作動し、瞬時に停止すること	D			
		ライニングのすきま	適正なすきまが確保されていること	M		すきまゲージにより測定	
		ライニングの摩耗	異常な摩耗、偏摩耗がないこと	M		ノギスにより計測	
		ドラムの損傷	損傷がないこと	E			
		制動部の清掃状態	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E			
		漏油	漏油がないこと	E			
		絶縁油糧	油面計の規定内であること	E			
		絶縁油劣化	ひどい濁りがなく、乳白化していないこと	E			
減速装置	減速機	振動	異常振動がないこと	H			
		異常音	異常音がないこと	S			
		温度上昇	全揚程を1往復運転で温度上昇50°以下。	M		温度計により確認	
		漏油	漏油がないこと	E			
		潤滑油量	油面計の規定内であること	E			
		潤滑油劣化	ひどい濁りがなく、乳白化していないこと	E			
	ドラムギヤ ピニオン 中間ギヤ	異常音	異常音がないこと	S			
		歯面の損傷	損傷がないこと	E			
		歯当り	PCD付近で歯筋方向に70%以上。理想は80%。	M		スケール、光明丹により計測	
		バックラッシ	JIS4級程度の範囲が歯厚の20%以下。最小値がモジュールの4%以上。	M		すきまゲージ或いは鉛線を押しつぶし計測	
	給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E				
動力伝達部	切替装置	作動状況	スムーズに切り替えられること	D			
		振動	異常振動がないこと	H			
		異常音	異常音がないこと	S			
		温度上昇	全揚程を1往復運転で温度上昇50°以下。	M		温度計により確認	
		漏油	漏油がないこと	E			
		潤滑油量	油面計の規定内であること	E			
		潤滑油	ひどい濁りがなく、乳白化していないこと	E			
	手動装置	作動状況	スムーズに切り替えられ、手動操作が行えること	D			
		振動	異常振動がないこと	H			
		異常音	異常音がないこと	S			
		潤滑油量	油面計の規定内であること	E			
	連動軸	潤滑油	ひどい濁りがなく、乳白化していないこと	E			
		変形	変形がないこと	E			
	軸受		損傷	損傷がないこと	E		
		振動	異常振動がないこと	H			
		異常音	異常音がないこと	S			
温度上昇		全揚程を1往復運転で温度上昇40°以下。	M		温度計により確認		
芯振れ		異常な芯振れがないこと	必要に応じて実施				
給油状態		油が供給されていること、油の劣化がないこと	E				
	磨耗	磨耗がないこと	E				
特記事項							

点検項目表		ローラゲート／ワイヤロープウインチ式開閉機			No. 5	
装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解	設備区分レベルⅠ		備考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1年毎	判定	
動力伝達部	たわみ軸継手 (歯車形軸継手) (ローラチェーン軸継手)	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		芯振れ	異常な芯振れがないこと	必要に応じて実施		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
胴体駆動部	ドラム	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		磨耗	ロープ溝部に異常な磨耗がないこと	E		
	ドラム軸	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
	ドラムロープ端末	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E		
	シーブ、軸、軸受	磨耗	磨耗がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
		回転状況	正常に回転すること	D		
	ワイヤロープ	ごみ、異物の付着	ごみ、砂塵等がロープに付着していないこと	E		
		変形	線の不規則な飛出し、部分的な籠状、キンク等がないこと	E		
		発錆	発錆がないこと	E		
		磨耗	異常な磨耗がないこと。ノギスにより計測。JIS(右欄)参照	M		JIS規格(G3525、G3546)
		索線切れ	異常な索線切れがないこと	E		
給油状態		油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
保護装置	ワイヤロープ端末調整装置	ロックナット	ゆるみがないこと	E		
		ソケット	割りピンが外れていないこと	E		
		ロープ長さ	閉時にロープのゆるみが、左右同一であること	E		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
	制限開閉機 (カウンタ式) (遊星歯車式)	作動状況	設定値にて正常に作動すること	D		
		変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
	直動形 リミットスイッチ	作動状況	設定値にて正常に作動すること	D		
		変形	変形がないこと	E		
損傷		損傷がないこと	E			
休止装置	休止装置	作動状況	休止操作が円滑に行えること	D		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
開度計	機械式	作動状況	実掲程と指針表示が合致していること	D		
		盤面の曇り	表示窓が透明で視認に支障がないこと	E		
給油装置 (開閉機)	給油ポンプ	損傷	損傷がないこと	E		
		作動状況	適正な圧力が発生すること	D		
		油量	適量で乳白色化していないこと	E		
	給油配管	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		漏油	漏油がないこと	E		
	分配弁	損傷	損傷がないこと	E		
作動状況		作動すること	D			
特記事項						

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート／ワイヤロープウインチ式開閉機

No. 6

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベルⅠ		備 考	
				待機系設備			
				年点検 基本周期 1 年毎	判 定		
機側操作盤全般	盤全体	清掃・塗装状態	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗膜の割れ、腐食がないこと	E			
		破損	破損がないこと	E			
		塗装状況	鋼板表面に塗膜の割れおよび腐食がないこと	E			
		内部温度・湿度状態	乾燥していること、また異常高温になっていないこと	E, H			
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ異常であること	M		絶縁抵抗計により測定	
	機器、計器類 共通	汚れ	汚れがないこと	E			
		変色	変色がないこと	E			
		端子のゆるみ	端子のゆるみがないこと	E, H			
		異常音	異常音がないこと	S			
計器類	電流計	電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M		機側操作盤の電流計の読み	
		0 点確認	ゲート停止時に 0 点を指していること	E			
	電圧計	電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M		機側操作盤の電圧計の読み	
開閉器類	電磁接触器	動作テスト	異常なく作動すること	D			
		異常音	異常音、振動がないこと	D, S			
		接点	接点に変色がないこと、接点溶着がないこと	D, E			
	漏電継電器	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D			
	避雷器	ランプテスト	正常に点灯すること、ヒューズが落断していないこと	E, H			
	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト	サーモスイッチの設定を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し動作を確認する。	D			
リレー類	補助リレー	作動テスト	異常音、振動がないこと	D, S, E			
		異常音	異常音がないこと	D, S, H			
	3 E リレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D			
		設定値確認	図面通りの設定値であること	E			
サーマルリレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D				
タイマ	タイマー	設定値確認	図面通りの設定値であること	E			
押釦表示灯	押釦スイッチ	作動テスト	開、閉、停が的確に作動すること	D, E			
	表示灯	ランプテスト	点灯すること	D, E			
	盤内蛍光灯	点灯、球切れ	点灯すること	D			
開度指示計	開度指示計	指示	実際掲程（または発信機）と指示値が合致していること、セルシン式は発信器の指示値に応動していること	D, E, M		開度指示計の読み	
配線	盤内配線	配線状態	損傷がなく断線していないこと	E			
		端子のゆるみ、脱落	断線がないこと、ゆるみがないこと	E, H			
	端子台	腐食	発錆がないこと	E			
	端子台取付ボルト	ゆるみ、脱落	ゆるみがないこと	E, H			
配管	配管	配管状態	ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと	E			
特記事項							

点検項目表			ローラゲート／油圧式開閉機		No. 1	
装置 区分	点検項目	点検内容	判定方法 E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解	設備区分レベルⅠ		備 考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1年毎	判 定	
扉体 全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E		
扉体	構造全体	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		片吊り	異常な傾き(片吊り)がないこと	E		
	スキンプレート	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に 応じて実施		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
	主桁、補助桁	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に 応じて実施		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
支 承 部 (ローラ部)	主ローラ、軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
		回転状況	回転すること	D		
	補助ローラ、軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
		回転状況	回転すること	D		
扉体付 シーブ	シーブ、シーブ軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
		回転状況	回転すること	D		
水密部	水密ゴム	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	劣化がないこと	E		
		漏水	機能に支障がないこと	E		
	ゴム押え板	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
特記事項						

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート／油圧式開閉機

No. 2

装置 区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベルⅠ		備 考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1年毎	判 定	
給油装置 (支 承 部)	給油ポンプ	損傷	損傷がないこと	E		
		作動状況	適正な圧力が発生すること	D		
		油量	適量で乳白色化していないこと	E		
	給油配管	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		漏油	漏油がないこと	E		
	分配弁	損傷	損傷がないこと	E		
		作動状況	作動すること	D		
戸 当 り 全 般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E		
取 外 し 戸 当 り	主ローラレール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	補助ローラレール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
		損傷	損傷がないこと	E		
埋 設 部	底部戸当り	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	側部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	上部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	コンクリート部	コンクリートの損傷	損傷がないこと	E		
		コンクリートの漏水	機能に支障がないこと	E		

特記事項

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート／油圧式開閉機

No. 3

装置 区分	点検項目	点検内容	E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解 判定方法	設備区分レベルⅠ		備 考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1 年毎	判 定	
全 般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
	塗装	損傷	傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
	外観	水滴の付着	水滴が付着していないこと	E		
油 圧 シ リ ン ダ	ピストンロッド	スティックスリップ、ビビリ等の振動、異音	異音、異常が感じられる振動がないこと	H, S		
		すべり面(めっき)の損傷	油漏れが生じるような損傷がないこと	E		
		ロッド部の発錆	発錆がないこと 発錆により油漏れが発生していないことを確認する	E		
		ロッドパッキン部の油漏れ	油が垂れていないこと パッキンを締め付けても油漏れがなくなる場合にはその量を計測する	E		
		曲がり	目視で曲がりが生じていないこと 曲がりがある場合には ストレッチ等 でその量を計測する	E, M		ストレッチ等により測定
	キャップ、ヘッドカバー	ボルトナットの弛み	油漏れが生じていないこと 弛みがないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
	ピストンパッキン	扉体のずれ落ち量 (内部油漏れ)	ゲート操作に支障がないこと 目安：50mm/24hr	M		
	配管接続部	ボルトナットの弛み	弛みがないこと 油漏れが生じていないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
油 圧 ユ ニ ツ ト	油圧ユニット外面	外面の水滴、塵 埃 ほこり	ユニット外面に水滴、塵埃、ほこり等の付着がないこと	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
		銘板類の損傷	銘板類の脱落、汚損がないこと	E		
	油漏れ	油圧ユニット設置部	油圧ユニット設置床面に、油溜りや油が滴下した形跡がないこと	E		
		油タンク部	油タンク上面に油溜りがないこと	E		
		油圧機器、配管	油圧機器や配管から油が垂れていないこと	E		
	油タンク	油面	油タンクの油面が油面計に印された正常な範囲にあること	E		
		油温	点検時、通常のゲート開閉運転を行い、作動油の温度上昇が30℃以下であることを確認する	M		温度計により測定
	油圧発生装置	電流値	設計圧力オンロード時の電流値が定格電流以下であること	M		電流計にて測定
		電圧値	作動時の電圧降下が±10%以下であること	M		電圧計にて測定
		異常騒音	有害な異常音がないこと	S		
		振動	有害な振動がないこと	H		
		発熱	異常な温度上昇がないこと	H		
ポンプ取付ボルト配管との接続ボルト		取付ボルト、配管との接続ボルトに弛みが生じてないこと	E, H			
油漏れ		油面計取付部、ドレンバルブからの油漏れがないこと	E			
油 圧 ユ ニ ツ ト	付属設備	端子箱	端子箱の内部に水分や塵埃、ほこり等の付着がないこと 端子箱内面や結線部が錆付いていないこと 端子接続部に弛みを生じていないこと	E		

特記事項

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表 ローラゲート／油圧式開閉機 No. 4

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 W:分解	設備区分レベルⅠ		備 考
			判定方法	待機系設備		
				年点検	判 定	
油圧配管	配管部	管継手部漏油(ニップル、ユニオンソケットなど)	ウェスで清掃し、新たに油がにじみ出さないこと	E		
		管溶接部の割れ(ソケット、管固定部など)	割れの無いこと	E		
		配管の割れ	割れの無いこと	E		
		管汚れ	管の汚れの無いこと	E		
		塗装	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
作動油	作動油	分析	色、粘度変化率、全酸化、水分、汚染度等が基準に定められた許容値を超えないこと	M		専門検査機関に依頼する。
扉体休止装置	全般	清掃状態	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
		水滴の付着	水滴が付着していないこと	E		
	油圧シリンダ内蔵自動着脱式休止装置	油漏れ	油圧シリンダヘッド部が油で漏れていなければ良い	E		
		作動確認	ロッドが所定量移動すれば良い 休止操作が円滑に行え、正常な休止状態が確保できること	M		移動量をメジャーで測定
		リミットスイッチ作動確認	機側操作盤の表示ランプが点灯すれば良い	D		

特記事項

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート／油圧式開閉機

No. 5

装置 区分	点検項目	点検内容	E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 判定方法	設備区分レベルⅠ		備 考
				待機系設備		
				年点検	判 定	
機側 操作 盤 全 般	盤全体	清掃・塗装状態	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗膜の割れ、腐食がないこと	E		
		破損	破損がないこと	E		
		塗装状況	鋼板表面に塗膜の割れおよび腐食がないこと	E		
		内部温度・湿度状態	乾燥していること、また異常高温になっていないこと	E, H		
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ異常であること	M		絶縁抵抗計により測定
	機器、計器類 共通	汚れ	汚れがないこと	E		
		変色	変色がないこと	E		
		端子のゆるみ	端子のゆるみがないこと	E, H		
		異常音	異常音がないこと	S		
計器類	電流計	電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M		機側操作盤の電流計の読み
		0点確認	ゲート停止時に0点を指していること	E		
	電圧計	電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M		機側操作盤の電圧計の読み
開閉器類	電磁接触器	動作テスト	異常なく作動すること	D		
		異常音	異常音、振動がないこと	D, S		
		接点	接点に変色がないこと、接点溶着がないこと	D, E		
	漏電継電器	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D		
	避雷器	ランプテスト	正常に点灯すること、ヒューズが落断していないこと	E, H		
	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト	サーモスイッチの設定を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し動作を確認する。	D		
リレー類	補助リレー	作動テスト	異常音、振動がないこと	D, S, E		
		異常音	異常音がないこと	D, S, H		
	3Eリレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D		
		設定値確認	図面通りの設定値であること	E		
サーマルリレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D			
タイ	タイマー	設定値確認	図面通りの設定値であること	E		
押釦	押釦スイッチ	作動テスト	開、閉、停が的確に作動すること	D, E		
表示灯	表示灯	ランプテスト	点灯すること	D, E		
	盤内蛍光灯	点灯、球切れ	点灯すること	D		
指示計	開度指示計	指示	実際掲程（または発信機）と指示値が合致していること、セルシン式は発信器の指示値に応動していること	D, E, M		開度指示計の読み
配線	盤内配線	配線状態	損傷がなく断線していないこと	E		
		端子のゆるみ、脱落	断線がないこと、ゆるみがないこと	E, H		
	端子台	腐食	発錆がないこと	E		
	端子台取付ボルト	ゆるみ、脱落	ゆるみがないこと	E, H		
配管	配管	配管状態	ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと	E		

特記事項

点検項目表				ローラ・スライドゲート／ラック・スピンドル・油圧式開閉機		No. 1		
装置区分	点検項目	点検内容	E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解 判定方法	設備区分レベルⅠ		備考		
				待機系設備				
				年点検 基本周期 1年毎	判 定			
扉体全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E				
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E				
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E				
	塗装	損傷	損傷がないこと	E				
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E				
扉体	構造全体	振動	異常振動がないこと	H				
		異常音	異常音がないこと	S				
		片吊り	異常な傾き(片吊り)がないこと	E				
	スキンプレート	変形	変形がないこと	E				
		損傷	損傷がないこと	E				
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じた実施				
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E				
		溶接部の割れ	割れがないこと	E				
		主桁、補助桁	変形	変形がないこと	E			
	損傷		損傷がないこと	E				
	板厚の減少		測定結果により判定のこと	必要に応じた実施				
	腐食(孔食)		腐食(孔食)がないこと	E				
	溶接部の割れ		割れがないこと	E				
	クサビ		損傷	損傷がないこと	E			
		扉体圧着状態	水密ゴムと戸当りにすきまがないこと	E				
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H				
		損傷	損傷がないこと	E				
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E				
	部 (スライドゲート)	摺動板	摩耗	摩耗がないこと	E			
			損傷	損傷がないこと	E			
腐食(孔食)			腐食(孔食)がないこと	E				
摺動状態			異常なく開閉すること	D				
サイドシュー		摩耗	摩耗がないこと	E				
		損傷	損傷がないこと	E				
		支 承 部 (ローラゲート)	主ローラ、軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E		
				損傷	損傷がないこと	E		
腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと			E				
給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと			E				
回転状況	回転すること			D				
補助ローラ、軸、軸受	摩耗		摩耗がないこと	E				
	損傷		損傷がないこと	E				
	腐食(孔食)		腐食(孔食)がないこと	E				
金 吊 物 り	水密ゴム	給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E				
		回転状況	回転すること	D				
		ゴム押え板	変形	変形がないこと	E			
			損傷	損傷がないこと	E			
	特記事項							

点検項目表				ローラ・スライドゲート／ラック・スピンドル・油圧式開閉機		No. 2	
装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解	設備区分レベルⅠ		備考	
				待機系設備			
				年点検 基本周期 1年毎	判定		
戸当り全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E			
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E			
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E			
	塗装	損傷	損傷がないこと	E			
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E			
取外し戸当り（スライドゲート）	レール	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	補助レール	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	取外し戸当り（ローラゲート）	主ローラレール	変形	変形がないこと	E		
			損傷	損傷がないこと	E		
			腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
			溶接部の割れ	割れがないこと	E		
補助ローラレール		変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
ボルト、ナット		ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
埋設部	底部戸当り	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	側部戸当り	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	上部戸当り	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
コンクリート部	コンクリートの損傷	損傷がないこと	E				
	コンクリートの漏水	機能に支障がないこと	E				
特記事項							

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラ・スライドゲート／ラック・スピンドル・油圧式開閉機

No. 4

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベルⅠ		備 考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1 年毎	判 定	
減速装置	本体(減速機)	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		温度上昇	異常な温度上昇がないこと	H		
		漏油	漏油がないこと	E		
		潤滑油量	油面計の規定内であること	E		
		潤滑油劣化	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと	E		
		内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗がないこと	必要に応じて実施		
動力伝達部	切替装置	作動状況	スムーズに切り替えられること	D		
	連動軸	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
	軸継手	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		芯振れ	異常な芯振れがないこと	必要に応じて実施		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
内部状態		構成部品に損傷、異常な磨耗がないこと	必要に応じて実施			
扉体駆動部	スピンドル	変形、曲り	変形、曲りがないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		磨耗	磨耗がないこと	M		ノギスにより測定する。
		油切れ	ネジ部にグリースが付着していること	E		
扉体駆動部	ラックピン	磨耗	開閉装置メーカーに許容値を確認のこと	E, M		
		給油状態	ラックピンにグリースが付着していること	E, H		
	ラック棒	変形	変形がないこと	E		
		異常音	異常音がないこと	S		
保護装置	過負荷防止機構	作動状況	正常に作動すること	D		
	リミットスイッチ	作動状況	設定値にて正常に作動すること	D		
開度計	機械式	作動状況	実掲程と指針表示が合致していること	D		
		盤面の曇り	表示窓が透明で、視認に支障がないこと	E		
中間振止	中間振止	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		スピンドルとの干渉	スピンドルと干渉しないこと	E		

特記事項

点検項目表			ローラ・スライドゲート／ラック・スピンドル・油圧式開閉機			No. 5
装置 区分	点検項目	点検内容	判定方法 E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解	設備区分レベルⅠ		備 考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1年毎	判 定	
全 般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
	塗装	損傷	傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
	外観	水滴の付着	水滴が付着していないこと	E		
油 圧 シ リ ン ダ	ピストンロッド	スティックスリップ、ビビリ等の振動、異音	異音、異常が感じられる振動がないこと	H, S		
		すべり面(めっき)の損傷	油漏れが生じるような損傷がないこと	E		
		ロッド部の発錆	発錆がないこと 発錆により油漏れが発生していないことを確認する	E		
		ロッドパッキン部の油漏れ	油が垂れていないこと パッキンを締め付けても油漏れがなくなる場合にはその量を計測する	E		
		曲がり	目視で曲がりが生じていないこと 曲がりがある場合には ストレッチ等 でその量を計測する	E, M		ストレッチ等により測定
	キャップ、ヘッドカバー	ボルトナットの弛み	油漏れが生じていないこと 弛みがないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
	ピストンパッキン	扉体のずれ落ち量(内部油漏れ)	ゲート操作に支障がないこと 目安：50mm/24hr	M		
	配管接続部	ボルトナットの弛み	弛みがないこと 油漏れが生じていないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
油 圧 ユ ニ ツ ト	油圧ユニット外面	外面の水滴、塵 埃 ほこり	ユニット外面に水滴、塵埃、ほこり等の付着がないこと	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
		銘板類の損傷	銘板類の脱落、汚損がないこと	E		
	油漏れ	油圧ユニット設置部	油圧ユニット設置床面に、油溜りや油が滴下した形跡がないこと	E		
		油タンク部	油タンク上面に油溜りがないこと	E		
		油圧機器、配管	油圧機器や配管から油が垂れていないこと	E		
	油タンク	油面	油タンクの油面が油面計に印された正常な範囲にあること	E		
		油温	点検時、通常のゲート開閉運転を行い、作動油の温度上昇が30℃以下であることを確認する	M		温度計により測定
	油圧発生装置	電流値	設計圧力オンロード時の電流値が定格電流以下であること	M		電流計にて測定
		電圧値	作動時の電圧降下が±10%以下であること	M		電圧計にて測定
		異常騒音	有害な異常音がないこと	S		
		振動	有害な振動がないこと	H		
		発熱	異常な温度上昇がないこと	H		
ポンプ取付ボルト配管との接続ボルト		取付ボルト、配管との接続ボルトに弛みが生じてないこと	E, H			
油漏れ		油面計取付部、ドレンバルブからの油漏れがないこと	E			
油 圧 ユ ニ ツ ト	付属設備	端子箱	端子箱の内部に水分や塵埃、ほこり等の付着がないこと 端子箱内面や結線部が錆付いていないこと 端子接続部に弛みを生じていないこと	E		
特記事項						

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表 ロウラ・スライドゲート／ラック・スピンドル・油圧式開閉機 No. 6

装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベルⅠ		備 考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1年毎	判 定	
油圧配管	配管部	管継手部漏油(ニップル、ユニオンソケットなど)	ウェスで清掃し、新たに油がにじみ出さないこと	E		
		管溶接部の割れ(ソケット、管固定部など)	割れの無いこと	E		
		配管の割れ	割れの無いこと	E		
		管汚れ	管の汚れの無いこと	E		
		塗装	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
作動油	作動油	分析	色、粘度変化率、全酸化、水分、汚染度等が基準に定められた許容値を超えないこと	M		専門検査機関に依頼する。
扉体休止装置	全般	清掃状態	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
		水滴の付着	水滴が付着していないこと	E		
	油圧シリンダ内蔵自動着脱式休止装置	油漏れ	油圧シリンダヘッド部が油で漏れていなければ良い	E		
		作動確認	ロッドが所定量移動すれば良い 休止操作が円滑に行え、正常な休止状態が確保できること	M		移動量をメジャーで測定
		リミットスイッチ作動確認	機側操作盤の表示ランプが点灯すれば良い	D		

特記事項

点検項目表			ローラ・スライドゲート／ラック・スピンドル・油圧式開閉機			No. 7
装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベルⅠ		備考
				待機系設備		
				運転時点検	判定	
機側操作盤全般	盤全体	清掃・塗装状態	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗膜の割れ、腐食がないこと			
		破損	破損がないこと			
		塗装状況	鋼板表面に塗膜の割れおよび腐食がないこと			
		内部温度・湿度状態	乾燥していること、また異常高温になっていないこと			
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ異常であること			絶縁抵抗計により測定
	機器、計器類共通	汚れ	汚れがないこと			
		変色	変色がないこと			
		端子のゆるみ	端子のゆるみがないこと			
		異常音	異常音がないこと			
計器類	電流計	電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること			機側操作盤の電流計の読み
		0点確認	ゲート停止時に0点を指していること			
	電圧計	電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること			機側操作盤の電圧計の読み
開閉器類	電磁接触器	動作テスト	異常なく作動すること			
		異常音	異常音、振動がないこと			
		接点	接点に変色がないこと、接点溶着がないこと			
	漏電継電器	作動テスト	テストボタンを押して作動すること			
	避雷器	ランプテスト	正常に点灯すること、ヒューズが落断していないこと			
	スペースヒータ(サーモスイッチ)	作動テスト	サーモスイッチの設定を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し動作を確認する。			
リレー類	補助リレー	作動テスト	異常音、振動がないこと			
		異常音	異常音がないこと			
	3Eリレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること			
		設定値確認	図面通りの設定値であること			
サーマルリレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること				
タイマー	設定値確認	図面通りの設定値であること				
押釦	押釦スイッチ	作動テスト	開、閉、停が的確に作動すること			
表示灯	表示灯	ランプテスト	点灯すること			
	盤内蛍光灯	点灯、球切れ	点灯すること			
開度指示計	開度指示計	指示	実際掲程(または発信機)と指示値が合致していること、セルシ式は発信器の指示値に応動していること			開度指示計の読み
配線	盤内配線	配線状態	損傷がなく断線していないこと			
		端子のゆるみ、脱落	断線がないこと、ゆるみがないこと			
	端子台	腐食	発錆がないこと			
	端子台取付ボルト	ゆるみ、脱落	ゆるみがないこと			
配管	配管	配管状態	ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと			
特記事項						

点検項目表 フラップ・マイターゲート／簡易ウインチ・油圧式開閉機 No. 1

特記事項

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表 フラップ・マイターゲート／簡易ウインチ・油圧式開閉機

No. 2

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベルⅠ		備考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1年毎	判 定	
開閉装置全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変色、白悪化がないこと	E		
構造部	構造全体	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
	架台	たわみ	たわみがないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
		損傷	損傷がないこと	E		
腐食(孔食)		腐食(孔食)がないこと	E			
動力部	電動機	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		温度上昇	異常な温度上昇がないこと	M		温度計により確認
		電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M		機側操作盤の電流計の読み
		電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M		機側操作盤の電圧計の読み
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること	M		絶縁抵抗計
		内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗がないこと	必要に応じて実施		
	手動装置	作動状況	円滑に開閉操作ができること	D		
		操作力	操作力が100N以下であること	M		バネ計りで計測
制動部		作動状況	確実に作動し、瞬時に停止すること	D		
		制動部の清掃状態	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
減速装置	本体(減速機)	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		温度上昇	異常な温度上昇がないこと	H		
		漏油	漏油がないこと	E		
		潤滑油量	油面計の規定内であること	E		
		潤滑油劣化	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと	E		
		内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗がないこと	必要に応じて実施		
動力伝達部	切替装置	作動状況	スムーズに切り替えられること	D		
	手動装置	作動状況	スムーズに切り替えられ、手動操作が行えること	D		
扉駆動部	シーブ、軸、軸受	磨耗	磨耗がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		回転状況	正常に回転すること	D		
	ワイヤロープ	ごみ、異物の付着	ごみ、砂塵等がロープに付着していないこと	E		
		磨耗	異常な磨耗がないこと。ノギスにより計測。JIS(右欄)参照	M		JIS規格(G3525、G3546)
保護装置	過負荷防止機構	作動状況	正常に作動すること	D		
	リミットスイッチ	作動状況	設定値にて正常に作動すること	D		
	特記事項					

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表 フラップ・マイターゲート／簡易ウインチ・油圧式開閉機

No. 3

装置 区分	点検項目	点検内容	E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解	設備区分レベルⅠ		備 考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1年毎	判 定	
全 般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
	塗装	損傷	傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
	外観	水滴の付着	水滴が付着していないこと	E		
油 圧 シ リ ン ダ	ピストンロッド	スティックスリップ、ビビリ等の振動、異音	異音、異常が感じられる振動がないこと	H, S		
		すべり面(めっき)の損傷	油漏れが生じるような損傷がないこと	E		
		ロッド部の発錆	発錆がないこと 発錆により油漏れが発生していないことを確認する	E		
		ロッドパッキン部の油漏れ	油が垂れていないこと パッキンを締め付けても油漏れがなくなる場合にはその量を計測する	E		
		曲がり	目視で曲がりが生じていないこと 曲がりがある場合には ストレッチ 等でその量を計測する	E, M		ストレッチ等により測定
	キャップ、ヘッドカバー	ボルトナットの弛み	油漏れが生じていないこと 弛みがないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
	ピストンパッキン	扉体のずれ落ち量(内部油漏れ)	ゲート操作に支障がないこと 目安：50mm/24hr	M		
	配管接続部	ボルトナットの弛み	弛みがないこと 油漏れが生じていないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
油 圧 ユ ニ ツ ト	油圧ユニット外面	外面の水滴、塵埃ほこり	ユニット外面に水滴、塵埃、ほこり等の付着がないこと	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
		銘板類の損傷	銘板類の脱落、汚損がないこと	E		
	油漏れ	油圧ユニット設置部	油圧ユニット設置床面に、油溜りや油が滴下した形跡がないこと	E		
		油タンク部	油タンク上面に油溜りがないこと	E		
		油圧機器、配管	油圧機器や配管から油が垂れていないこと	E		
	油タンク	油面	油タンクの油面が油面計に印された正常な範囲にあること	E		
		油温	点検時、通常のゲート開閉運転を行い、作動油の温度上昇が30℃以下であることを確認する	M		温度計により測定
	油圧発生装置	電流値	設計圧力オンロード時の電流値が定格電流以下であること	M		電流計にて測定
		電圧値	作動時の電圧降下が±10%以下であること	M		電圧計にて測定
		異常騒音	有害な異常音がないこと	S		
		振動	有害な振動がないこと	H		
		発熱	異常な温度上昇がないこと	H		
		ポンプ取付ボルト 配管との接続ボルト	取付ボルト、配管との接続ボルトに弛みが生じてないこと	E, H		
油漏れ		油面計取付部、ドレンバルブからの油漏れがないこと	E			
油圧ユニット 付属設備	端子箱	端子箱の内部に水分や塵埃、ほこり等の付着がないこと 端子箱内面や結線部が錆付いていないこと 端子接続部に弛みを生じていないこと	E			
特記事項						

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

フラップ・マイターゲート／簡易ウインチ・油圧式開閉機

No. 4

装置 区分	点検項目	点検内容	E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解 判定方法	設備区分レベルⅠ		備 考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1年毎	判 定	
作 動 油		管溶接部の割れ (ソケット、管固 定部など)	割れの無いこと	E	良 ・ 否	
		配管の割れ	割れの無いこと	E	良 ・ 否	
		管汚れ	管の汚れの無いこと	E	良 ・ 否	
		塗装	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変 退色、白亜化が無いこと	E	良 ・ 否	
	作動油	分析	色、粘度変化率、全酸化、水分、 汚染度等が基準に定められた許容 値を超えないこと	M	良 ・ 否	専門検査機関に依頼する。
扉 体 休 止 装 置	全般	清掃状態	ひどい汚れ、油等の付着が無いこと	E	良 ・ 否	
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変 退色、白亜化が無いこと	E	良 ・ 否	
		水滴の付着	水滴が付着していないこと	E	良 ・ 否	
	油圧シリンダ 内蔵自動着脱 式休止装置	油漏れ	油圧シリンダヘッド部が油で漏れ ていなければ良い	E	良 ・ 否	
		作動確認	ロッドが所定量移動すれば良い 休止操作が円滑に行え、正常な休 止状態が確保できること	M	良 ・ 否	移動量をメジャーで測定
		リミットスイッチ 作動確認	機側操作盤の表示ランプが点灯す れば良い	D	良 ・ 否	

特記事項

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表 フラップ・マイターゲート／簡易ウインチ・油圧式開閉機

No. 5

装置 区分	点検項目	点検内容	判定方法 E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解	設備区分レベルⅠ		備 考	
				待機系設備			
				年点検 基本周期 1 年毎	判 定		
		塗装状況	鋼板表面に塗膜の割れおよび腐食がないこと	E	良 ・ 否		
		内部温度・湿度状態	乾燥していること、また異常高温になっていないこと	E, H	良 ・ 否		
	機器、計器類 共通	絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ異常であること	M	良 ・ 否	絶縁抵抗計により測定	
		汚れ	汚れがないこと	E	良 ・ 否		
		変色	変色がないこと	E	良 ・ 否		
		端子のゆるみ	端子のゆるみがないこと	E, H	良 ・ 否		
	計器類	電流計	電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M	良 ・ 否	機側操作盤の電流計の読み
			0 点確認	ゲート停止時に 0 点を指していること	E	良 ・ 否	
電圧計		電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M	良 ・ 否	機側操作盤の電圧計の読み	
開閉器類	電磁接触器	動作テスト	異常なく作動すること	D	良 ・ 否		
		異常音	異常音、振動がないこと	D, S	良 ・ 否		
		接点	接点に変色がないこと、接点溶着がないこと	D, E	良 ・ 否		
	漏電継電器	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D	良 ・ 否		
	避雷器	ランプテスト	正常に点灯すること、ヒューズが落断していないこと	E, H	良 ・ 否		
	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト	サーモスイッチの設定を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し動作を確認する。	D	良 ・ 否		
リ レ ー 類	補助リレー	作動テスト	異常音、振動がないこと	D, S, E	良 ・ 否		
		異常音	異常音がないこと	D, S, H	良 ・ 否		
	3 E リレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D	良 ・ 否		
		設定値確認	図面通りの設定値であること	E	良 ・ 否		
	サーマルリレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D	良 ・ 否		
タイ マー 押 釦 表 示 灯	タイマー	設定値確認	図面通りの設定値であること	E	良 ・ 否		
表示灯	押釦スイッチ	作動テスト	開、閉、停が的確に作動すること	D, E	良 ・ 否		
	表示灯	ランプテスト	点灯すること	D, E	良 ・ 否		
	盤内蛍光灯	点灯、球切れ	点灯すること	D	良 ・ 否		
指示計	開度指示計	指示	実際掲程（または発信機）と指示値が合致していること、セルシン式は発信器の指示値に応動していること	D, E, M	良 ・ 否	開度指示計の読み	
配線	盤内配線	配線状態	損傷がなく断線していないこと	E	良 ・ 否		
		端子のゆるみ、脱落	断線がないこと、ゆるみがないこと	E, H	良 ・ 否		
	端子台	腐食	発錆がないこと	E	良 ・ 否		
	端子台取付ボルト	ゆるみ、脱落	ゆるみがないこと	E, H	良 ・ 否		
配管	配管	配管状態	ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと	E	良 ・ 否		
特記事項							

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表 修理用ゲート／管理橋支持式

No. 1

装置 区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベルⅠ		備 考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1年毎	判 定	
扉体 全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷 劣化	損傷がないこと 発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E		
扉体	構造全体	ピンの装着状況	ゲートの設置、撤去に支障がないこと	E		
	スキンプレート	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	主桁、補助桁	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	クサビ	損傷	損傷がないこと	E		
		扉体圧着状態	水密ゴムと戸当りにすきまがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
支承部	摺動板	摩耗	摩耗がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		摺動状態	異常なく開閉すること	D		
吊り金物	吊り金物、吊りピン	摩耗	摩耗がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
水密部	水密ゴム	損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	劣化がないこと	E		
		漏水	機能に支障がないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
	ゴム押え板	損傷	損傷がないこと	E		
戸当り 全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷 劣化	損傷がないこと 発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E		
取外し戸 当り	中間戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
		損傷	損傷がないこと	E		
	床版アンカ部	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		摩耗	摩耗がないこと	E		
埋設部	底部戸当り	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
	側部戸当り	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
	コンクリート部	損傷	損傷がないこと	E		
		コンクリートの漏水	機能に支障がないこと	E		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表 修理用ゲート／角落し式

No. 1

装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E：目視 M：測定 H：触診・指触 S：聴診・聴覚 D：動作確認 W：分解	設備区分レベルⅠ		備考
				待機系設備		
				年点検		
扉体全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E		
扉体	構造全体	ピンの装着状況	ゲートの設置、撤去に支障がないこと	E		
	スキンプレート	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	主桁、補助桁	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	クサビ	損傷	損傷がないこと	E		
		扉体圧着状態	水密ゴムと戸当りにすきまがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
支承部	摺動板	摩耗	摩耗がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		摺動状態	異常なく開閉すること	D		
	サイドシュー	摩耗	摩耗がないこと	E		
	損傷	損傷がないこと	E			
吊り金物	吊り金物、吊りピン	損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
水密部	水密ゴム	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	劣化がないこと	E		
		漏水	機能に支障がないこと	E		
	ゴム押え板	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
戸当り全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E		
埋設部	底部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
	側部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
	コンクリート部	コンクリートの損傷	損傷がないこと	E		
		コンクリートの漏水	機能に支障がないこと	E		

伊島漁港防波水門点検用

様式集

§ 9	点 検 整 備 方 法	
-----	-------------	--

1. 日常および定期点検整備一般

	危険
各部品（ただし、休止装置関係は除く）の分解は、扉体を休止させ、さらにワイヤーロープ自重をドラム以外に支持させて行って下さい。 休止装置の分解は、扉体休止状態以外で行って下さい。 扉体落下等の重大事故を発生させるおそれがあります。	

	警告
回転部が内部にあります。安全カバーをはずさないで下さい。 点検・整備の作業時に取外す必要が発生した場合は、電源を遮断し電動機を停止させてください。 ケガをするおそれがあります。	

	注意
各機器の調整箇所は、不具合の生じない限り、変更しないでください。 やむを得ず調整する必要がある場合は、その部分の機構・構造をよく理解した上で行ってください。	

- 1) 開閉装置、操作盤等は定期的に清掃して下さい。
- 2) 開閉装置の一部を取外し、再取付けした場合は、目視・後慣らし運転を行って、各部が正常状態であることを確認して下さい。
 また、分解し点検整備を行う場合は事前に相マークを施し、同一箇所の再取付けを行って下さい。
- 3) 各種リミットスイッチはゲートの保守、管理上重要なものですので定期的にその作動を確認して下さい。
- 4) 電気機器は湿度が厳禁です。常時スペースヒータを”入”にして下さい。

長時間休止後操作する場合及び湿度の高い場合はスペースヒータを”入”にすると同時に乾燥剤を入れて盤内部を十分乾燥させて下さい。

- 5) 装置の機構、構造、作動を充分理解し常に良好な作動状態が保てるよう点検、整備して下さい。
- 6) 次頁以降の各装置の点検間隔は標準を示しています。

2. 用語の定義

点 検 方 法	X	【交 換】	主に経時的に劣化する部品について、定期整備時等に予防保全的に交換するものである。
	C	【清 掃】	フィルタ等ではスケールや水垢等が付着することによって機能の障害が起きやすいので、点検時において当該箇所を分解(点検の目的に合わせ必要な程度に)して付着物を除去するなどのものである。
	W	【分 解】	容易には内部の点検ができないが、経済的に不純物などが堆積したり、腐食が進行する部分で、主に定期整備時に分解して内部を点検し、清掃の上、経時劣化部品を交換する(次回の分解サイクルまで、性能劣化が許容されるか否かの判断を要する)ものである。
	E	【目 視】	次の手法によって目で見える範囲で異常の有無を確認(機付の計器の指示値の確認を含む)するものである。 原則として、月点検では○印のついていない項目は管理運転の前又は後に機側にて異常の有無を確認し、○印のついている項目では管理運転中に異常の有無を確認したり、 異常があれば正常な管理運転のできない項目については正常な管理運転の実施の確認によって当該項目に確認にかえる(管理運転ができない場合は、当該機器の機側にて、必要に応じて「目視」以外の手法によって所要の確認を行う。)年点検や定期整備では、当該機器の機側にて見える範囲で異常の有無を確認する。 なお、自家用電気工作物については、月点検でははしご、その他の器物を用いないで到達できる範囲内で、最も見やすい箇所からみて異常の有無を確認し、年点検や定期整備では容易に到達できる範囲内で最も見やすい箇所から、必要に応じて双眼鏡を用いて異常の有無を確認することとされている。
	A	【調 整】	計器ゼロ点を調整したり、充電を実施するなど、機能維持のために機器の一部を動かす作業を伴う点検である。
	M	【測定】	機器の状態を定量的に把握し、良否を判定するための計器(機付の計器がある場合はそれ以外の計器)を用意しこれによって確認を行うものである。
	T	【増締】	締め付けボルトなど、一般的に定められている経時、仕様に基づきボルト・ナットを締め付けるものである。なお、端子の接続部などについて、緩みの確認をかねて所要のトルクで締めることも含む。
	H	【指触】	機器が動いている状態で、主に機器の異常振動や異常温度上昇の有無を確認するため、素手で機器に触れて確認するものである。
	D	【動作確認】	手動で当該部品を動かしたり、模擬的に信号を入力することによって、当該機器の反応から異常の有無を確認するものである。 このため、必要に応じて計器などを使用する。
	S	【聴覚】	機器が動いている状態で発生する音から、機器の異常の有無を判断するものである。
処 理 の 方 針	【補修】 (又は修繕)		塗装等における部分(又全体)の塗替えをするなどのものである。
	【取替】		「交換」と同意義(ここで、「交換」の定義においては、対象は部品となっているが、例えば、機付きの圧力計のように内部部品を取替えるのは一般的でないようなものは、そのものを部品と読みかえてよいものとする。 また、特に、機器における最小単位の不具合部品のみを交換すべきものについては「部品を交換する。」というように示している。)
	【補給】		減少した量(又はもの)のみを足し規定の量にするものである。
	【原因を調査する】		当該箇所の点検結果の現象だけでは原因が特定できないとき、関連系統を点検し、不具合箇所を特定するまでのことを言う。

点 検 条 件	【 前 】	運転(点検・整備)直前に行う必要のある点検を言う。
	【 中 】	運転中又はそれと同様な条件下で行う必要のある点検を言う。
	【 後 】	運転を停止した直後に行う必要のある点検を言う。
	【 休 】	上記3ケース以外に行うことが良い点検を言う。
	【 ①休 】	扉体を休止させ、さらにワイヤロープ自重をドラム以外に支持させてのみ行うことのできる点検を言う。
	【 断 】	特に“電源を切ってから”のみ行うことのできる点検を言う。

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
		運転時点検	定期点検		臨時点検	定期整備					
点検項目	点 検 内 容			月点検		年点検		5年整備	10年整備		
扉 体	扉体外面のゴミ	E	—	E	—	—	—	休	・ゴミ等がないこと。	・清掃する。	これらを放置すると腐食・孔食等の要因となるので、取除き清掃する。
	扉体内面のゴミ	—	—	E	—	—	—	休	・ゴミ等がないこと。	・清掃する。	
	変形箇所	—	—	E	—	—	—	休	・変形および損傷がないこと。	・変形等があれば原因調査の上、必要な補修を行う。	
	給油	—	E	E	—	—	—	休	・正常な給油状態であること。	・不足があれば補給する。	
	ローラの偏摩耗	—	—	E	—	—	—	休	・摩耗による操作中の異常がないこと。	・変形等があれば原因調査の上、必要な補修を行う。	ゲートのローラは、低波圧時にはスリップする傾向があるので、これによる偏摩耗を起こしていないか点検する必要がある。
	ローラ軸の変形	—	—	E	—	—	—	休	・変形による操作中の異常がないこと。	・変形が著しければ修理または交換する。	
	ローラ軸受の摩耗	—	—	E	—	—	—	休	・摩耗による振れ、ガタがないこと。	・下記振れ、ガタがあれば交換する。 ※軸の許容振れ 0.3mm	
		—	—	—	—	—	M	休		・下記許容以上の摩耗であれば交換する。①3.4mm	
	シーブの摩耗	—	—	E	—	—	—	休	・摩耗による異常がないこと。	・摩耗が著しければ交換する。	
		—	—	—	—	—	M	休		・下記許容以上の摩耗であれば交換する。②	

① ※軸と軸受けのすきまはスキマゲージで計測し、軸径の1%以下

② ※ミゾはロープ径の25%(10.6mm)以上 ツバは内厚の25%(3.0mm)

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
		運転時点検	定期点検		臨時点検	定期整備					
点 検 内 容	月点検		年点検	5年整備		10年整備	休	休	休		
		点検項目									
扉 体	シーブ軸の変形	—	—	E	—	—	—	休	・変形による異常がないこと。	・変形が著しければ修理または交換する。	
	シーブ軸受の摩耗	—	—	E	—	—	—	休	・摩耗による振れ, ガタがないこと。	・下記振れ, ガタがあれば交換する。 ※軸の許容振れ 0.3mm	
		—	—	—	—	—	M	休		・下記許容以上の摩耗であれば交換する。①2.8mm	

① ※軸と軸受けのすきまはスキマゲージで計測し, 軸径の1%以下

② ※ミゾはロープ径の25%(10.6mm)以上 ツバは内厚の25%(3.0mm)

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
		運転時点検	定期点検		臨時点検	定期整備					
点検項目	点 検 内 容		月点検	年点検		5年整備	10年整備	休	休	休	
戸 当 り	コンクリートクラック	—	—	E	E	—	—	休	・クラックがないこと。	・クラックがあれば原因調査の上、対策を検討する。	
	腐食箇所	—	—	E	—	—	—	休	・発錆，腐食がないこと。	・腐食があれば，必要により補修する。	
	変形箇所	—	—	E	—	—	—	休	・変形および損傷がないこと。	・変形等があれば原因を調査の上，必要な補修を行う。	

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
		運 転 時 点 検	定期点検		臨 時 点 検	定期整備					
点 検 項 目	点 検 内 容		月 点 検	年 点 検		5 年 整 備	1 0 年 整 備	中	中	中	休
		月 点 検			年 点 検						
開閉装置（ワイヤロープウインチ式）	電動機の過熱	H	Ⓗ	H	—	—	—	中	・手で触われる程度であること。	・異常であれば、補修または交換する。	
		—	—	—	—	M	M	中	・周囲温度(+)40℃以内であること。		
	電動機の振動	H	Ⓗ	H	—	—	—	中	・通常時の運転と比較し、異常振動がないこと。	・異常振動があれば、補修または交換する。	
	ワイヤロープの摩耗	—	—	M	—	—	—	休	・ゴミの付着および摩耗がないこと。 ・摩耗による径の許容細りは7%以内	・清掃および給油する。 ・摩耗が著しければ交換する。	
		—	—	—	—	—	×	休	呼径 φ42.5 許容径 φ39.5	・原則として交換する。	
	ワイヤロープ素線の破損	—	—	E	—	—	—	休	・ストランドの1ピッチ間に素線数の10%以内の素線切れしかないこと。 ※素線数： 6×37=222本	・素線切が著しければ交換する。	
		—	—	—	—	—	×	休		・原則として交換する。	
	ワイヤロープの変形	—	E	E	—	—	—	休	・著しい変形がないこと。	・著しい変形があれば交換する。	
	ワイヤロープの端末	—	E	E	—	—	—	休	・端末部にゆるみ等の不具合がないこと。	・ゆるみがあれば調整する。	
	ワイヤロープの給油	—	—	—	—	—	—	休	・正常な給油状態であること。(表面に油が付着していること)	・不足があれば補給する。	

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
点検項目	点 検 内 容	運 転 時 点 検	定期点検		臨 時 点 検	定期整備					
			月 点 検	年 点 検		5 年 整 備	1 0 年 整 備				
開閉装置（ワイヤロープウインチ式）	シーブの摩耗	—	—	E	—	—	—	休	・みぞ部に著しい摩耗がないこと。	・著しい摩耗があれば補修、または交換する。	
		—	—	—	—	—	M	休		・下記許容以上の摩耗であれば交換する。 ②	
	シーブ軸の変形	—	—	E	—	—	—	休	・変形による異常がないこと。	・変形があれば原因を調査し交換する。	
	ロープ調整金物の球面座金	—	E	—	—	—	—	休	・正常な給油状態であること。（端面に油がにじみでていること）	・不足があれば補給する。	
	シーブ軸受の摩耗	—	—	E	—	—	—	休	・摩耗による振れ、ガタがないこと。	・下記振れ、ガタがあれば交換する。 ※軸の許容芯振れ 0.3mm	
		—	—	—	—	—	M	休		下記許容以上の摩耗があれば交換する。 ①2.2mm	
	各軸受の摩耗	—	—	E	—	—	—	休	・摩耗による振れ、ガタのないこと。	・下記振れ、ガタがあれば交換する。 ※軸の許容振れ 0.3mm	
	チェーンカップリングの異音	E	—	E	—	—	—	中	・著しい芯振れや異音のないこと。	・芯振れ・異常音があれば、補修または交換する。	
—		—	—	—	—	M	Ⓐ休	・許容以上の角度誤差または偏芯があれば修正する。 ※角度誤差1°，偏芯0.5mm			

① ※軸と軸受けのスキマはスキマゲージで計測し、軸径の1%以下

② ※ミゾはロープ径の25%(10.6mm)以上 ツバは内厚の25%(3.0mm)以上

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
点検項目	点 検 内 容	運 転 時 点 検	定期点検		臨 時 点 検	定期整備					
			月 点 検	年 点 検		5 年 整 備	1 0 年 整 備				
開閉装置（ワイヤロープウインチ式）	ギヤーカップリングの異音・異振	E	—	E	—	—	—	中	・著しい芯振れや異音のないこと。	・芯振れ・異常音があれば、補修または交換する。	
		—	—	—	—	—	M	⊕休		・許容以上の角度誤差または偏芯があれば修正する。 ※角度誤差0.5°，偏芯2.4mm	
	減速機潤滑油量	E	E	E	—	—	—	前	・規定レベル内にあること。	・不足があれば補給する。	
		—	—	X	—	X	X	休		・交換する。	
	減速機の振動	H	H	H	—	—	—	中	・通常時の運転と比較し、異常振動がないこと。	・異常振動があれば、補修または交換する。	
	減速機温度	H	⊕H	H	—	—	—	中	・手で触れる程度であること。	・異常であれば、部品交換又は全体交換する。	
		—	—	—	—	M	M	中	・規定レベル内にあること。		
	リミットスイッチ	E	⊕E	—	—	—	—	前休	・上限，下限，休止完了，非常上限，ロープ緩み，過負荷，休止フック開閉のリミットスイッチ等が正常に作動すること。	・異常であれば，調整または交換する。	
		—	—	M	—	—	—	休			
		—	—	—	—	—	—	X		休	
	ワイヤドラム	—	⊕E	E	—	—	—	休中	・ゴミの付着がなく円滑に作動すること。	・ゴミの除去，補修する。	
	ギヤーの歯面	—	E	E	—	—	—	休中	・ゴミの付着がなく正常な給油状態であること。	・ゴミの除去 ・油膜切れがあれば直ちに補給する。	

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
		運転時点検	定期点検		臨時点検	定期整備					
点 検 内 容	月点検		年点検	5年整備		10年整備					
		点検項目									
開閉装置（ワイヤロープウィンチ式）	ギヤーの摩耗	—	—	—	—	—	M	休	・歯面に摩耗，歯こぼれ，傷がないこと。	・摩耗等著しければ交換する。	片当りしていないかについても留意する。
	ブレーキシューの摩耗	—	—	E	—	—	—	休	・著しい摩耗がないこと。	・異常であれば，部品交換又は全体交換する。	
		—	—	—	—	—	M	—			
	ブレーキドラムの摩耗	—	—	E	—	—	—	中	・割れや傷がなく著しい摩耗がないこと。	・著しい摩耗のある場合は交換する。 (メーカー取扱説明書)参照	
		—	—	—	—	—	M	中			
	ブレーキ作動	E	Ⓔ	E	—	—	—	前中	・停止の押し釦を押した後，規定時間内に停止すること。	・調整または整備する。	
	各軸受の温度	H	Ⓔ	H	—	—	—	中	・手で触れる程度であること。	・異常であれば，原因を調査し，必要な補修をする。	
		—	—	—	—	M	M	中	・周囲温度(+)40℃以内であること。		
	チェーンカップリング給油	—	—	E	—	—	—	休	・正常な給油状態であること。 (ローラチェーン，スプロケット歯面にグリースが付着していること)	・不足であれば，補給する。	
		—	—	—	—	X	X	Ⓔ		・旧油脂を拭取り，新油脂を塗布する。	
	ギヤカップリング給油	—	—	E	—	—	—	—	・正常な給油状態であること。 (歯面にグリースが付着していること)	・不足があれば，補給する。	
		—	—	—	—	X	X	Ⓔ		・旧油脂を拭取り，新油脂を塗布する。	

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
		運 転 時 点 検	定期点検		臨 時 点 検	定期整備					
点 検 項 目	点 検 内 容		月 点 検	年 点 検		5 年 整 備	1 0 年 整 備	休 前 休	休 前 休	休 前 休	休 前 休
		月 点 検			年 点 検						
開閉装置（ワイヤロープウィンチ式）	給油（集中給油部）	－	E	－	－	－	－	休	・正常な給油状態であること。 （軸受端に油がにじみでていること）	・不足があれば補給する。	
	休止フック用、スク リュージャッキ 潤滑油量	－	E	E	－	－	－	前	・規定レベル内にあること。	・不足があれば補給する。	
		－	－	X	－	X	X	休		・交換する。	
	休止フック用、スク リュージャッキ スピンドルの摩耗、変 形・給油	－	－	E	－	－	－	休	・著しい摩耗、変形がないこと。	・ネジ部にグリースを補給する ・摩耗が著しい場合または変形がある場合は交換する。	
		－	－	X	－	X	X	休		・旧油脂を拭取り、新油脂を塗布する。	
	塗装	－	－	E	－	－	－	休	・発錆、塗装剥離がないこと。	・剥離等があれば補修する。	
		－	－	－	－	－	X	休		・原則として塗替える。	
	陸 間	周囲のゴミ	E	－	E	－	－	－	休	・ゴミ等がないこと。	・清掃する。
水密ゴムの損傷、変 形、老化		－	－	E	－	－	－	休	・傷、変形がないこと。	・原因調査の上、補修する。	
		－	－	－	－	－	X	休		・原則として交換する。	
軸受の給油		－	E	E	－	－	－	－	・正常な給油状態であること。	・不足があれば補給する。	

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
点検項目	点 検 内 容	運 転 時 点 検	定期点検		臨 時 点 検	定期整備					
			月 点 検	年 点 検		5 年 整 備	1 0 年 整 備				
予 備 発 電 装 置	エンジン作動確認運転(保守運転)										
	3～5分の 無負荷運転	E, S	E, S	—	—	—	—	中	計器類の作動確認。 運転中に異常音, 異臭, 異常振動及び異常な発熱 がないこと。	専門家へ調査依頼すること。	
	5～10分の 無負荷運転	E, S, H	E, S, H	E, S, H	E, S, H	E, S, H	E, S, H				
	3時間以上の 無負荷運転	E, S, H	E, S, H	E, S, H	E, S, H	E, S, H	E, S, H				
	エンジン一般										
	かかり具合及び異音	E, S	E, S	E, S	E, S	E, S	E, S	中	不具合, 異音のないこと。	専門家へ調査依頼すること。	
	油圧 (計器指示)	E	E	E	E	E	E	中	アイドリング時:0.1Mpa (1.0kgf/cm2)以上, 定格回 転時:0.2～0.6Mpa(2.0～ 6.1kgf/cm2)	専門家へ調査依頼すること。	
	排圧測定	—	—	—	—	M	M	中	専門家へ依頼すること。	専門家へ調査依頼すること。	
	排気色点検	E	E	E	E	E	E	中	定格出力が50%以上の時 黒色や白色でないこと。	発電装置取説①項参照	
	シリンダーヘッド, マニホールド, マウンティングブラケット 各部の締付け状態	—	—	—	—	T	T	休	専門家へ依頼すること。	専門家へ依頼すること。	

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
点検項目	点 検 内 容	運 転 時 点 検	定期点検		臨 時 点 検	定期整備					
			月 点 検	年 点 検		5 年 整 備	1 0 年 整 備				
予 備 発 電 装 置	圧縮圧力	—	—	—	—	M	M	中	専門家へ依頼すること。	専門家へ依頼すること。	
	バルブクリアランス	—	—	A	A	A	A	休	専門家へ依頼すること。	専門家へ依頼すること。	
	エアークリーナーエレメント	E	E	E	E	X	X	休	ダストインジケーターに赤シグナルが出ていないこと。	発電装置取説②項参照	
	ターボチャージャーベアリングの回転具合	—	—	—	—	—	E	中	専門家へ依頼すること。	専門家へ依頼すること。	
	主要部の分解清掃	—	—	—	—		W	休	専門家へ依頼すること。	専門家へ依頼すること。	
	潤滑系統										
	各部の油漏れ	E	E	E	E	E	E	休	油漏れのしないこと。	専門家へ依頼すること。	
	エンジンオイル	E	E	E	X	X	X	休	オイルレベルゲージを使用し油量、汚れを調べる。	発電装置取説③項参照	
	オイルフィルターエレメント	—	—	X	—	X	X	休	オイルの分析結果に基づく。	発電装置取説④項参照	
	燃料系統										
	各部の燃料漏れ	E	E	E	E	E	E	休	燃料漏れのしないこと。 ホースの損傷、劣化のしないこと。	専門家へ依頼すること。 ホースは交換すること。	
	燃料の量	E	E	E	E	E	E	休	燃料量が満たされていること。	軽油を給油すること。	
	ヒューエルフィルタエレメント	E	E	X	—	X	X	休	汚れ、目詰まりのしないこと。	発電装置取説⑤項参照	
	ウォーターセパレータ内の水分、沈殿物の排出	E	E	X	—	X	X	休	水分、沈殿物のないこと。	発電装置取説⑥項参照	
	噴射ノズルの噴射圧力及び噴霧状態	—	—	D	—	D	X	中	専門家へ依頼すること。	専門家へ依頼すること。	
	噴射ポンプのゴーズフィルター点検、清掃	—	—	E	—	X	X	休	専門家へ依頼すること。	専門家へ依頼すること。	
	噴射時期	—	—	E	—	E	E	中	専門家へ依頼すること。	専門家へ依頼すること。	

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
点検項目	点 検 内 容	運 転 時 点 検	定期点検		臨 時 点 検	定期整備					
			月 点 検	年 点 検		5 年 整 備	1 0 年 整 備				
予 備 発 電 装 置	燃料槽内の水分, 沈殿物の排出	—	—	E	E	X	X	休	水分, 沈殿物のないこと。	水分, 沈殿物を取除く。	
	配管系統バルブ開閉状態点検	E	E	E	E	E	E	中	不具合のないこと。	専門家へ依頼すること。	
	冷却系統										
	各部の水漏れ	E	E	E	E	E	X	休	水漏れのないこと。 ホースの損傷, 劣化のないこと。	専門家へ依頼すること。 ホースは交換すること。	
	冷却水量	E	—	E	E	X	X	休	点検時期に交換する。	交換する。	
	Vーベルトの緩み, 損傷	—	—	H	H	X	X	休	Vーベルト中間を約98N(10kgf)で押した時10～15mmたわむこと。	発電装置取説⑦項参照	
	サーモスタットの点検	—	—	E	—	D	D	休	専門家へ依頼すること。	専門家に依頼する。	
	冷却水	—	—	X	—	X	X	休	汚れのないこと。	発電装置取説⑧項参照	
	ラジエーターの損傷	—	—	X	—	X	X	休	損傷のないこと。 アジエーターコアの清掃状態を確認する。	損傷は補修する。 清掃をする。	
	ファンの損傷, 取付状態	—	—	E, A	—	E, A	E, A	休	損傷のないこと。 取付ボルトにゆるみのないこと。	損傷は補修する。 緩みは増締めする。	
	ウォーターポンプの給脂	—	—	E	E	X	X	休	点検時期に交換する。	発電装置取説⑨項参照	
	電気系統										
	バッテリーの点検 (比重, 液量)	—	E	M	M	X	X	休	バッテリー液の量及び比重が適正であること。	発電装置取説⑩項参照 交換する。	
	ウォーターヒーターの点検	E	E	M	M	X	X	休	ヒータの断線を点検のこと。	専門家へ依頼すること。	

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
点検項目	点 検 内 容	運 転 時 点 検	定期点検		臨 時 点 検	定期整備					
			月 点 検	年 点 検		5 年 整 備	1 0 年 整 備				
予 備 発 電 装 置	オイルヒーターの点検	E	E	M	M	X	X	休	ヒータの断線を点検のこと。	専門家へ依頼すること。	
	スターター、オルタネーターの点検	—	—	E	E	E	E	休	不具合のないこと。	専門家へ依頼する。	
	セーフティーリレー、ソレノイドリレー、チャタリングリレーの機能点検	—	—	E	E	E	E	中	不具合のないこと。	専門家へ依頼する。	
	始動シーケンス										
	保護装置動作点検	—	—	D	D	D	D	中	正常に動作すること。	専門家へ依頼する。	
	始動時間(電圧確率まで)点検	M	M	M	M	M	M	中	約15秒で電圧確立すること。	専門家へ依頼する。	
	その他										
	外観の点検, 清掃	E	E	E	E	E	E	休	汚れ, 虫の巣等のないこと。	清掃する。	
	防振ゴムの点検	E	E	E	E	E	X	休	損傷のないこと。	補修する。	
	カップリング(ラバープッシュ)点検	E	E	E	T	T	T	休	損傷のないこと。	補修する。	
	付属機器										
	ウイングポンプ作動点検	—	D	D	D	D	D	休	正常に動作すること。	修理又は交換する。	
換気扇の作動点検	D	D	D	D	D	D	中	予備発電室が40℃以内であること。 汚れ, 損傷のないこと。	修理又は交換する。		

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
		運転時点検	定期点検		臨時点検	定期整備					
点検項目	点 検 内 容			月点検		年点検		5年整備	10年整備		
操 作 盤	全般 清掃状態	E	E	E	－	－	－	休	前面ガラスの汚れ、破損がないこと。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がないこと。 蝶番に無理がなく、施錠が完全であること。	ウエスで拭く、又は交換する。 取除き刷毛、ウエス等で清掃する。 注油して開閉が軽くできるようにする。 錠は交換する。	
	全般 内部乾燥	E	E	E	－	－	－	休	扉を開けて目視、指触等により内部が乾燥していること。	防水、防塵パッキンが不良の場合は交換する。 好天時に扉を開けて内部を乾燥させる。	
	電圧計の電圧値	－	－	M	－	－	－	休	標準計器(0.5級計器)と比較して2.5%以下の誤差であること。	不良の場合、新品と交換する。	
	電流計の電流値	－	－	M	－	－	－	休	標準計器(0.5級計器)と比較して2.6%以下の誤差であること。	不良の場合、新品と交換する。	
	電磁開閉器の作動状況	D	D	D	－	－	－	中	作動時、うなり音等の異常音(ブザーのような)がないこと。	マグネット内部は錆、ごみ等が付着しているので取除くか、新品と交換する。 主にモータの起動電流による電源電圧の異常降下によるもので元電流を調査する。	
	補助リレーの作動状況	D	D	D	－	－	－	中	作動時、うなり音等の異常音(ブザーのような)がないこと。 投入時にチャタリングしなければよい。	マグネット内部は錆、ごみ等が付着しているので取除くか、新品と交換する。 主にモータの起動電流による電源電圧の異常降下によるもので元電流を調査する。	

点 検 整 備		点検・整備周期と点検方法						点検条件	良否の判定方法及び判定基準	処理の方針	備考
		運転時点検	定期点検		臨時点検	定期整備					
点 検 項 目	点 検 内 容		月点検	年点検		5年整備	10年整備				
操 作 盤	3Eリレー・漏電リレーの作動状況	D	D	D	—	—	—	休	テスト釦を押した際、正しく作動すること。	不良の場合、新品と交換する。	
	押釦	D	D	D	—	—	—	中	上昇, 下降, 停止等の各押釦が確実に作動すること。	不良の場合、新品と交換する。	
	表示ランプ	D	D	D	—	—	—	休	作動させた時、各ランプが点灯すること。 ランプテスト押釦を押して、全てのランプが点灯すること。	玉切れの場合、交換する。 表示灯器具又は回路の故障の場合は修理又は交換する。	
	開度指示計の作動	M	—	—	—	—	—	中	実際揚程(又は発信器)と指示値が一致していること。 (セルシン式)発信器の指示値に応動すること。	実際揚程に指示計の指示値を合うように調整する。 (A)電源ブレーカ断, ONにする。 (B)配線の脱落, 修理する。 (C)セルシンのコイル焼損, 又は断線は新品と交換する。	